

会長講演 PL

9月15日（金）9:00～9:40

第1会場 イベントホール

会長講演

座長：出江 紳一（東北大学大学院医工学研究科）

演者	所属	職種	演題
<small>いちむら</small> 市村 久美子	茨城県立医療大学保健医療学部看護学科	看護師	摂食嚥下リハビリテーションにおける専門職連携

会長指定講演 PDL

9月16日（土）10:50～11:50

第2会場 2F コンベンションホールA

会長指定講演1

座長：鎌倉 やよい（日本赤十字豊田看護大学）

演者	所属	職種	演題
洪 愛子 <small>こう あいこ</small>	公益社団法人日本看護協会	看護師 保健師	ケアをつなぐ看護専門職の人材育成

9月16日（土）9:40～10:40

第4会場 2F 国際会議室

会長指定講演2

座長：植田 耕一郎（日本大学歯学部）

演者	所属	職種	演題
Amy L. HESTER	University of Arkansas Director of Nursing Research and Innovation for Medical Sciences (UAMS) Medical Center HD Nursing, LLC University of Arkansas for Medical Sciences	RN BC	Reducing Aspiration Pneumonia by Introducing Evidence Based Oral Care and Feeding Protocols via Empowerment Training

海外招聘講演 II

9月15日（金）10:50～11:50

第4会場 2F 国際会議室

海外招聘講演1

座長：才藤 栄一（藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座）

演 者	所 属	職 種	演 題
Rainer DZIEWAS	Professor of Department of Neurology Otto Creutzfeldt Center for Cognitive and Behavioral Neuroscience (OCC) University Hospital Münster	MD	Post stroke dysphagia - moving from diagnostics to intervention

9月16日（土）10:50～11:50

第4会場 2F 国際会議室

海外招聘講演2

座長：香取 幸夫（東北大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科）

演 者	所 属	職 種	演 題
Peter C. BELAFSKY	University of California, Davis	MD	Innovations in the treatment of profound oropharyngeal dysphagia

教育講演 EL

9月15日（金）13:40～14:40

第1会場 イベントホール

教育講演1

座長：倉智 雅子（新潟リハビリテーション大学）

演者	所属	職種	演題
しほもと いさむ 柴本 勇	聖隷クリストファー大学	言語聴覚士	摂食嚥下訓練への新たなる視点

9月15日（金）13:40～14:40

第2会場 2F コンベンションホールA

教育講演2

座長：金城 利雄（医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院）

演者	所属	職種	演題
こやま たまみ 小山 珠美	NPO法人口から食べる幸せを守る会 伊勢原協同病院摂食機能療法室	看護師 保健師	食べるをサポートするための包括的スキル

9月15日（金）15:45～16:45

第3会場 2F コンベンションホールB

教育講演3

座長：藤本 保志（名古屋大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科）

演者	所属	職種	演題
つだ こうた 津田 豪太	聖隷佐倉市民病院 耳鼻咽喉科	医師	嚥下リハビリテーションの中での手術治療

9月15日（金）9:40～10:40

第4会場 2F 国際会議室

教育講演4

座長：馬場 尊（医療法人ふじあく医院）

演者	所属	職種	演題
やまわき まさなが 山脇 正永	京都府立医科大学大学院 総合医療・医学教育学	医師	摂食嚥下障害のメカニズム： 個々の患者さんに対応するために

教育講演 EL

9月16日（土）10:50～11:50

第1会場 イベントホール

教育講演5

座長：向井 美恵（昭和大学名誉教授/朝日大学客員教授/ムカイ口腔機能研究所所長）

演者	所属	職種	演題
ひろなか しやうじ 弘中 祥司	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔 医学講座口腔衛生学部門	歯科医師	食べる機能の発達と支援

9月16日（土）13:00～14:00

第1会場 イベントホール

教育講演6

座長：唐帆 健浩（杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室/杏林大学病院摂食嚥下センター）

演者	所属	職種	演題
てらもと しんじ 寺本 信嗣	和光駅前クリニック 内科	医師	誤嚥性肺炎の新予防戦略-サイエンスとアート-

9月16日（土）15:00～16:00

第2会場 2F コンベンションホールA

教育講演7

座長：大越 ひろ（神奈川工科大学（客員教授）/日本女子大学（名誉教授））

演者	所属	職種	演題
ぼう はるみ 房 晴美	医療法人恵泉会 界温心会病院 栄養部	管理栄養士 栄養士	『摂食嚥下障害者の栄養改善』 ～生きてきたからこそ最後まで食べる～

9月16日（土）13:00～14:00

第3会場 2F コンベンションホールB

教育講演8

座長：本多 知行（燿光リハビリテーション病院）

演者	所属	職種	演題
かが や ひとし 加賀谷 斉	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学I講座	医師	摂食嚥下障害の診断と評価の実際

シンポジウム SY

9月15日（金）9:50～11:50

第2会場 2F コンベンションホールA

シンポジウム1

摂食嚥下に関連する手術とチームアプローチ

オーガナイザー / 座長：坂倉 浩一（群馬大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

演者	所属	職種	演題
かなざわ ひであき 金沢 英哲	浜松市リハビリテーション病院 えんげと声のセンター	医師	摂食嚥下障害に関連する手術と、術前後のリハビリテーション
しの まさと 紫野 正人	群馬大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	誤嚥防止手術（気管弁法）の適応と実際
あおやま ひさあき 青山 寿昭	愛知県がんセンター中央病院	看護師 保健師	頭頸部がん治療後の摂食嚥下障害へのサポート
いけがみ ゆみこ 池上 由美子	がん感染症センター都立駒込病院 看護部 歯科口腔外科	歯科衛生士	頭頸部・食道がん治療に対する口腔ケアの意義と実際
やました あいこ 山下 亜依子	静岡県立静岡がんセンター 栄養室	管理栄養士 栄養士	頭頸部・食道癌治療における栄養上のトラブルと対策
いいの よしえ 飯野 由恵	国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	言語聴覚士	食道癌患者における嚥下障害への関わり方： 言語聴覚士の立場から

9月15日（金）14:55～16:55

第2会場 2F コンベンションホールA

シンポジウム2

神経内科の摂食嚥下－専門職の視点－

オーガナイザー / 座長：野崎 園子（関西労災病院）

座長：金藤 大三（国立病院機構鳥取医療センター）

演者	所属	職種	演題
かわとう たいぞう 金藤 大三	国立病院機構鳥取医療センター 神経内科	神経内科医	神経内科疾患の摂食嚥下障害の病態と医療的介入
にし えみこ 西 依見子	Taste & See	看護師 保健師	摂食嚥下障害の看護 入院から在宅まで
いさの ちはる 磯野 千春	近畿大学医学部堺病院神経内科	言語聴覚士	摂食嚥下障害のリハビリテーション
ながお みえ 長尾 美恵	関西労災病院 栄養管理室	管理栄養士 栄養士	神経筋難病における栄養管理のポイント

シンポジウム SY

9月16日（土）14:10～16:00

第1会場 イベントホール

シンポジウム3

高齢者への食支援ーサルコペニア・フレイルの予防から認知症ケアまでー

オーガナイザー / 座長：山田 律子（北海道医療大学看護福祉学部）

座長：平野 浩彦（東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科）

演者	所属	職種	演題
わかばやし ひでたか 若林 秀隆	横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科	医師	サルコペニアの摂食嚥下障害の予防と治療： リハビリテーション栄養
ふかだ じゅんこ 深田 順子	愛知県立大学看護学部	看護師 保健師	食道がん術後高齢患者に対する摂食嚥下障害看護
えだひろ 枝広 あや子	東京都健康長寿医療センター研究所	歯科医師	認知症高齢者の食にまつわる口腔機能支援を通じた協働
こじま ちえこ 小島 千枝子	藤田保健衛生大学医療科学部 リハビリテーション学科	言語聴覚士	認知症による摂食嚥下障害へのアプローチ

9月16日（土）14:10～16:00

第4会場 2F 国際会議室

シンポジウム4

災害と摂食嚥下リハビリテーション

オーガナイザー / 座長：植田 耕一郎（日本大学歯学部 摂食機能療法学講座）

演者	所属	職種	演題
こみどう くにつく 近藤 国嗣	JRAT 副代表、広報委員長、 東京湾岸リハビリテーション病院	医師	災害支援 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 に求めること
まえだ けいすけ 前田 圭介	玉名地域保健医療センター 摂食嚥下栄養療法科	医師	災害弱者に対する多職種食支援の必要性
こやま たまみ 小山 珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会	看護師 保健師	気仙沼・熊本での口から食べる支援の継続活動
かさおか つばやま のぶよ 笠岡（坪山） 宜代	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・ 栄養研究所	管理栄養士 栄養士	栄養支援から見えてきた課題 ～災害支援栄養士 JDA-DAT ～
なかぐき こういち 中久木 康一	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面外科学分野	歯科医師	歯科支援の現状と課題および本学会に求めること

パネルディスカッション PD

9月15日（金）9:50～11:50

第1会場 イベントホール

パネルディスカッション1

地域における食支援活動

オーガナイザー / 座長：菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

座長：白坂 誉子（合同会社トライ・アス/デイスサービスとらい・あす）

演者	所属	職種	演題
あらがね ひでき 荒金 英樹	愛生会山科病院外科	医師	地域包括ケアを目指した京都の食支援の試み
やまね ゆきこ 山根 由起子	京都府立医科大学 在宅チーム医療推進学講座	看護師 保健師	地域で「食べる」「続ける」「最期まで」を支えるために
よねやま くみこ 米山 久美子	医療法人社団白木会 地域栄養サポート自由が丘	管理栄養士 栄養士	地域における食支援活動 —訪問管理栄養士の立場から—
きくたに たけし 菊谷 武	日本歯科大学口腔リハビリテーション 多摩クリニック	歯科医師	地域における食支援活動

9月15日（金）14:50～17:20

第1会場 イベントホール

パネルディスカッション2

摂食嚥下障害と倫理

オーガナイザー / 座長：藤島 一郎（浜松市リハビリテーション病院）

座長：安川 揚子（茨城県立医療大学保健医療学部看護学科）

演者	所属	職種	演題
みのおか まさこ 箕岡 真子	臨床倫理学会 総務担当	医師	摂食嚥下障害の倫理 —臨床倫理からみた摂食嚥下障害—
いちむら かずひろ 市村 和夫	市村歯科医院	歯科医師	認知症終末期における経口摂取継続の可否
わたなべ じゅんこ 渡邊 淳子	福岡大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	臨床現場で直面するSTの倫理的ジレンマ
ながお のりこ 長尾 式子	北里大学 看護学部	大学 専門学校等教員	摂食嚥下機能低下に伴う職をめぐると倫理的問題
あおき ゆかり 青木 ゆかり	千葉県千葉リハビリテーションセンター	看護師 保健師	小児領域の倫理的問題
かなざわ ひであき 金沢 英哲	浜松市リハビリテーション病院 えんげと声のセンター	医師	嚥下障害の誤嚥防止手術に伴う倫理的問題

パネルディスカッション PD

9月15日（金）9:50～11:50

第3会場 2F コンベンションホールB

パネルディスカッション3

乳幼児の摂食嚥下機能を育てる

オーガナイザー / 座長：田角 勝（昭和大学医学部小児科学講座）

演者	所属	職種	演題
たかぎ のぶこ 高木 伸子	たかぎ歯科	歯科医師	地域の歯科診療所における摂食嚥下障害児への対応
ふなだ ともよ 舟田 知代	島田療育センター	看護師 保健師	多職種の関わりがはぐくむ、乳幼児摂食嚥下～看護の役割と課題～
おおたか みわ 大高 美和	こどもでいさびすにじいろ	管理栄養士 栄養士	障害のある乳幼児の食べる力を育てるために大切なこと～母、管理栄養士、児童デイ管理者の立場から～
たかはし さとる 高橋 智	東京学芸大学特別支援科学講座	大学 専門学校等教員	当事者調査からみた発達障害等の発達困難を有する子どもの食の困難の実態と支援ニーズ
たつの まさる 田角 勝	昭和大学医学部小児科学講座	医師	乳幼児の摂食嚥下機能を引き出す支援

9月15日（金）13:40～15:30

第3会場 2F コンベンションホールB

パネルディスカッション4

発達期嚥下調整食分類作成過程と普及に向けて

オーガナイザー：武原 格（東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

座長：弘中 祥司（昭和大学歯学部、発達期嚥下調整食特別委員会）

藤谷 順子（国立国際医療研究センター病院、発達期嚥下調整食特別委員会）

演者	所属	職種	演題
たけはら いたる 武原 格	東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科	医師	発達期嚥下調整食分類作成の経緯
こじょう あきこ 小城 明子	東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科	管理栄養士 栄養士	発達期嚥下調整食に求められる食形態
そね すい 曽根 翠	東京都立東大和療育センター	医師	直接介助者による喫食直前の手元調理
ののもと 野本 たかと	日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座	歯科医師	日本障害者歯科学会からの意見と普及に向けて
みたむら さちよ 三田村 佐智代	日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座	歯科医師	特別支援学校における摂食指導 －某県教育委員会機能強化事業に関わって－

パネルディスカッション PD

9月15日（金）13:40～15:30

第4会場 2F 国際会議室

パネルディスカッション5

摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士制度の策定経緯と発展にむけて

オーガナイザー：小城 明子（東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科）

座長：田中 弥生（駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科）

江頭 文江（地域栄養ケア PEACH厚木）

演者	所属	職種	演題
田中 早苗	厚生労働省 健康局 健康課 栄養指導室	管理栄養士 栄養士	摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士に期待される役割
石川 祐一	日立総合病院栄養科・日本栄養士会	管理栄養士 栄養士	日本栄養士会がめざす専門管理栄養士像と摂食嚥下リハ専門管理栄養士への期待
上島 順子	NTT東日本関東病院 栄養部	管理栄養士 栄養士	摂食・嚥下障害患者に関わる管理栄養士に求められること～急性期病院からの視点～
手塚 文栄	医療法人たかぎ歯科 歯科と栄養 二足のワラジの会	管理栄養士 准看護師	歯科勤務栄養士の立場から
安田 和代	総合在宅医療クリニック	管理栄養士 栄養士	在宅で最期まで「食」を支えるための役割

9月16日（土）8:50～10:40

第1会場 イベントホール

パネルディスカッション6

機能訓練の重要性と実際 ～理論を押さえ実践力を磨こう！～

オーガナイザー／座長：清水 充子（埼玉県総合リハビリテーションセンター）

座長：熊倉 勇美（千里リハビリテーション病院）

演者	所属	職種	演題
熊倉 勇美	千里リハビリテーション病院	言語聴覚士	機能訓練の重要性と実際 ～理論を押さえ実践力を磨こう！～
加賀谷 齊	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学I講座	医師	運動学習理論とリハビリテーションへの応用
稲本 陽子	藤田保健衛生大学 リハビリテーション学科	言語聴覚士	課題指向的嚥下練習
福岡 達之	広島国際大学総合リハビリテーション 学部リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻	言語聴覚士	運動学習を考慮した嚥下リハビリテーションの 実践 ～機能訓練におけるフィードバックの重要性～
清水 充子	埼玉県総合リハビリテーションセンター	言語聴覚士	機能訓練の重要性と実際 ～理論を押さえ実践力を磨こう！～

パネルディスカッション PD

9月16日（土）13:00～14:50

第2会場 2F コンベンションホールA

パネルディスカッション7

脳卒中患者の医科歯科連携による口腔機能管理について

オーガナイザー：戸原 玄（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学系口腔老化制御学講座高齢者歯科学分野）

座長：前原 健寿（東京医科歯科大学脳神経外科）

水口 俊介（東京医科歯科大学大学院高齢者歯科学分野）

演者	所属	職種	演題
稲次 基希	東京医科歯科大学脳神経外科	医師	脳卒中診療における歯科介入 -脳卒中診療医からみる現状と課題-
古屋 純一	東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野	歯科医師	多職種と地域で支える脳卒中患者の口腔機能管理 - 歯科の立場から -
戸原 玄	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科歯学系専攻 老化制御学講座高齢者歯科学分野	歯科医師	医科歯科連携状況についてのアンケートの結果
川崎 つま子	東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部	看護師 保健師	多職種連携で行う脳卒中患者の口腔機能管理マニュアル作成
中島 純子	防衛医科大学校歯科口腔外科	歯科医師	脳卒中患者に対する口腔機能管理診療ガイドライン作成に向けて

9月16日（土）10:00～11:50

第3会場 2F コンベンションホールB

パネルディスカッション8

療養型医療施設での摂食嚥下リハ

オーガナイザー / 座長：藤谷 順子（国立国際医療研究センター）

座長：白波瀬 元道（永生病院リハビリテーション部）

演者	所属	職種	演題
廣瀬 佳恵	厚生労働省 保険局医療課	課長補佐	療養型医療施設に期待される役割とリハビリテーションのあり方
阪口 英夫	医療法人永寿会 陵北病院歯科診療部	歯科医師	療養病床における摂食嚥下リハビリテーション
吉田 英毅	吉田病院 内科	医師	療養型病棟で行う摂食嚥下リハビリテーション
白波瀬 元道	永生病院リハビリテーション部	言語聴覚士	当院医療療養病棟における言語聴覚士の役割 - 摂食嚥下リハビリテーションに着目して -
工藤 正美	田無病院栄養科	管理栄養士 栄養士	療養型医療施設での管理栄養士の役割

スキルアップセミナー SS

9月15日（金）15:45～17:15

第4会場 2F 国際会議室

スキルアップセミナー1

口腔ケアにおける連携（がん患者も含む）

オーガナイザー / 座長：村松 真澄（札幌市立大学 看護学部）

演者	所属	職種	演題
ちかづ だいち 近津 大地	東京医科大学医学部口腔外科学分野	歯科医師	歯科医師の立場から口腔ケアを再考する
ながなわ やよい 長縄 弥生	愛知県がんセンター中央病院 頭頸部外科（歯科）	歯科衛生士	「口腔ケア」は清潔行為？歯科衛生士がイメージする口腔ケアは「口腔衛生管理・口腔機能管理」
げんま たかお 源間 隆雄	札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	口腔ケアを通じた食支援 ～言語聴覚士の立場から～
むらまつ ますみ 村松 真澄	札幌市立大学 看護学部	看護師	口腔ケアにおける連携 ～看護師の立場から再考する

9月16日（土）14:10～15:40

第3会場 2F コンベンションホールB

スキルアップセミナー2

誤嚥性肺炎を予防するポジショニング

オーガナイザー / 座長：迫田 綾子（日本赤十字広島看護大学）

演者	所属	職種	演題
さこだ あやこ 迫田 綾子	日本赤十字広島看護大学看護学部	看護師 保健師	誤嚥性肺炎を予防するポジショニング
きたで よしのり 北出 貴則	医療法人誠佑記念病院 診療技術部 リハビリテーション室	理学療法士	“誤嚥性肺炎を予防するポジショニング” シーティングのスキルチェック ～身体を支持する車いす支持面の影響～
たなか やすよ 田中 靖代	ナーシングホーム気の里	看護師	誤嚥を防ぐための食事介助のスキル 口腔機能を引き出す食事の形態とスプーンテクニック

編集委員会主催セミナー

9月16日（土）10:00～11:00

第5会場 2F 201

編集委員会主催セミナー

論文の書き方、査読のポイント

座長：青柳 陽一郎（藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座）

演 者	所 属	職 種	演 題
わたなべ ゆたか 渡邊 裕	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所	歯科医師	査読のポイント、論文の書き方について

症例カンファレンス CC

9月15日（金）13:40～14:40

第6会場 3F 301

症例カンファレンス1

誤嚥・多職種連携

座長：近藤 和泉（国立長寿医療研究センター）

演者	所属	職種	演題
にしやま こういちろう 西山 耕一郎	西山耳鼻咽喉科・頭頸部外科医院	医師	地域の在宅多職種連携が有効であった気管切開症例
たづみ きょうへい 田積 匡平	岡崎市民病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	入院中の嚥下造影検査で著明な異常を認めなかったが8カ月間に誤嚥性肺炎で四度入退院を繰り返した一症例
なかわら ともみ 中村 友美	九段坂病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	小脳出血により慢性期まで水分の不顕性誤嚥が残存した一症例 —水分嚥下の訓練と改善した機能の検討—

9月16日（土）13:00～13:40

第5会場 2F 201

症例カンファレンス2

口腔・頭頸部疾患

座長：二藤 隆春（東京大学医学部 耳鼻咽喉科）

演者	所属	職種	演題
かわもと かつゆき 河本 勝之	鳥取大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科	医師	約67年間原因不明とされてきた嚥下障害例 —輪状咽頭部アカラシア疑い例（症例カンファレンス続報）
いいの かな 飯野 雅奈	筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション療法科	言語聴覚士	舌の両側性脂肪腫により巨舌を呈し、嚥下障害を呈した症例を経験して ～巨舌が嚥下機能に及ぼす影響の考察～

English Session ENS

September 15,2017 (Fri) 13:40 ~ 14:40

Room5 2F 201

English Session1

Chair : Rainer DZIEWAS (Professor of Department of Neurology Otto Creutzfeldt Center for Cognitive and Behavioral Neuroscience (OCC) University Hospital Münster)

Sonoko NOZAKI (Kansai Rosai Hospital)

演 者	所 属	職 種	演 題
Corinne JONES	Dept. of Communication Sciences & Disorders Neuroscience Training Program Dept. of Surgery, Division of Otolaryngology-Head & Neck Surgery University of Wisconsin - Madison	ST	Pharyngeal swallowing pressure variability is an age-, volume-, and region-dependent phenomenon
Hideaki KANAZAWA	Hamamatsu City Rehabilitation Hospital, Swallowing and Voice Center	MD	Surgical indications of aspiration prevention surgery in multiple system atrophy
Byung-Mo OH	Associate clinical professor Department of Rehabilitation Medicine Seoul National University College of Medicine Seoul National University Hospital	MD	Characteristics of early oropharyngeal dysphagia in patients with multiple system atrophy
Kojun TSUJI	Division of Dysphagia Rehabilitation, Niigata University Graduate school of Medical and Dental sciences	DDS	Carbonated water stimulation facilitates swallow initiation via capsaicin sensitive nerves in rats

September 15,2017 (Fri) 14:40 ~ 15:40

Room5 2F 201

English Session2

Chair : Peter C. BELAFSKY (UC Davis Center for Voice & Swallowing

Professor of Department of Otolaryngology and the Director of The Center for Voice and Swallowing. He also holds appointments in the UCD Department of Epidemiology and School of Veterinary Medicine)

Eiichi SAITO (Fujita Health University Department of Rehab Medicine I)

演 者	所 属	職 種	演 題
Rachel MOLHEREN	Postdoctoral Research Fellow & Speech-Language Pathologist Johns Hopkins Medical Institutions	ST	Taste perception and swallow screen results in elderly women
Tobias WARNECKE	Department of Neurology, University of Münster, Germany	MD	Specific endoscopic protocols to evaluate oropharyngeal swallowing in different neurological disorders
Yoko INAMOTO	Faculty of Rehabilitation, School of Health Sciences, Fujita Health University	ST	Effect of Mendelsohn maneuvers and Effortful swallow Kinematic analysis using 3D dynamic computed tomography
Yoon GHIL PARK	Professor Department of Rehabilitation Medicine Gangnam Severance Hospital Yonsei University College of Medicine	MD	Correlation between respiratory function and dysphagia in stroke patients

English Session ENS

September 15,2017 (Fri) 15:40 ~ 16:40

Room5 2F 201

English Session3

Chair : Amy L.HESTER (University of Arkansas Director of Nursing Research and Innovation for Medical Sciences (UAMS)

Medical Center HD Nursing, LLC University of Arkansas for Medical Sciences)

Hitoshi KAGAYA (Fujita Health UniversityDepartment of Rehab Medicine I)

演 者	所 属	職 種	演 題
Ashwini NAMASIVAYAM	Rehabilitation Sciences Institute, University of Toronto Speech-Language Pathologist, Clinical Research Coordinator Swallowing Rehabilitation Research Laboratory Toronto Rehabilitation Institute, University Health Network	ST	How Swallow Pressures and Dysphagia Affect Malnutrition and Mealtimes in Nursing Homes
Haruhi INOKUCHI	Department of Rehabilitation,The University of Tokyo Hospital	MD	Survey on risk factors for dysphagia after cervical spine surgery: the second report
Sonja SUNTRUP- KRUEGER	University Hospital Münster Department of Neurology	MD	Randomized controlled trial of tDCS for the treatment of post stroke dysphagia
Koji HARA	Gerodontology and Oral Rehabilitation, Department of Gerontology and Gerodontology,Graduate school of Medical and Dental Science,Tokyo Medical and Dental University	DDS	The deterioration of two swallowing muscles strength in aging.
Ju Seok RYU	Department of Rehabilitation Medicine, Seoul National University Bundang Hospital, Seoul National University College of Medicine	MD	The Effectiveness of Sequential Four-Channel Neuromuscular Electrical Stimulation System for the Treatment of Dysphagia

学会助成課題成果報告講演 TL

9月16日（土）15:00～16:00

第5会場 2F 201

学会助成課題成果報告講演

座長：飯田 良平（鶴見大学 歯学部 高齢者歯科学講座）

演 者	所 属	職 種	演 題
かわもと かつゆき 河本 勝之	鳥取大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	医師	嚥下造影検査と高解像度マノメトリーによる嚥下圧の定量解析の併用は、筋萎縮性側索硬化症の嚥下機能をどこまで解明できるか？
おがわ なみ 小川 奈美	東京医科歯科大学 高齢者歯科学分野	歯科医師	サルコペニアの摂食嚥下障害診断フローチャートの妥当性の検証

交流集会 EM

9月15日（金）17:30～18:30

第3会場 2F コンベンションホールB

交流集会1「栄養士」

コンビニ、スーパー等の市販品は嚥下調整食として利用できるか？

コーディネーター：工藤 美香（新都市医療研究会「君津」会 南大和病院）

座長：江頭 文江（地域栄養ケア栄養ケアPEACH厚木）

演者	所属	職種	演題
やすだ かずよ 安田 和代	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック	管理栄養士 栄養士	「コンビニアレンジごはん」で食支援
しみず ひろみ 清水 宏美	社会福祉法人慶寿会松林ケアセンター	管理栄養士 栄養士	施設での食支援～デイサービスの視点から～

9月15日（金）17:30～18:30

第4会場 2F 国際会議室

交流集会2「看護師」

みんなで認知症の摂食嚥下障害を考えよう

オーガナイザー／座長：青山 寿昭（愛知県がんセンター中央病院）

座長：小酒井 千代美（あま市民病院）

コーディネーター：廣瀬 みゆき（中部ろうさい病院）

演者	所属	職種	演題
かわむら ともみ 川村 聡美	総合病院 松江生協病院	看護師	認知症の摂食嚥下障害—地域包括ケア病棟—
いたみ かずみ 伊丹 和美	医療法人和光会 山田病院 回復期病棟	看護師	回復期リハビリテーション病棟における 認知症患者様の支援について
おづ みちこ 小津 美智子	だいでうクリニック 地域チーム 医療・教育センター 在宅診療部	看護師	在宅での認知症患者への関わり
しらさか たかこ 白坂 誉子	合同会社トライ・アス デイサービスとらい・あす	看護師	デイサービスにおける認知症高齢者の食支援

9月15日（金）17:30～18:30

第5会場 2F 201

交流集会3「歯科衛生士」

摂食嚥下障害の臨床における現状と問題点～一歩先を行く歯科衛生士の報告～

オーガナイザー／座長：柴田 由美（昭和大学江東豊洲病院 歯科・口腔外科）

高柳 久与（聖隷三方原病院 リハビリテーション部）

演者	所属	職種	演題
にしかわ としえ 西川 利恵	社会医療法人社団三思会 東名厚木病院	歯科衛生士	急性期病院における口腔の専門家としての歯科 衛生士の役割と摂食嚥下リハビリテーション
しのはら づつき 篠原 弓月	地域食支援グループ ハッピーリーブス	歯科衛生士	在宅での食支援活動 ～歯科衛生士単独訪問の場合～
たなか ゆうこ 田中 祐子	日本歯科大学口腔リハビリテーション 多摩クリニック	歯科衛生士	口腔リハビリテーション専門クリニックにおけ る摂食指導～主に障害児の場合～

交流集会 EM

9月15日（金）17:30～18:30

第6会場 3F 301

交流集会4「言語聴覚士」

STの立場から考える嚥下訓練における倫理的ジレンマ

座長：柴本 勇（聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部言語聴覚学科 教授）

コーディネーター：北條 京子（浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部）

演者	所属	職種	演題
おかもと けいし 岡本 圭史	浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	臨床倫理カンファレンスを行った症例について
わたなべ じゅんこ 渡邊 淳子	福岡大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	STが臨床で遭遇するジレンマの実際

9月15日（金）17:30～18:30

第7会場 3F 302

交流集会5「急性期（多職種）」

「急性期から考える食へることへの支援」

～IPW（Inter Professional Work多職種協働）の実践に向けて～

オーガナイザー / 座長：外塚 恵理子（筑波メディカルセンター病院）

座長：小野寺 智子（NTT東日本関東病院）

演者	所属	職種	演題
つじ ゆうこ 辻 祐子	NTT東日本関東病院	管理栄養士 栄養士	急性期における栄養サポート
そのべ さとみ 蘭部 理美	筑波メディカルセンター病院 慢性呼吸疾患看護認定看護師	看護師 保健師	呼吸機能の評価とコンディショニング
きの みわこ 木野 美和子	筑波メディカルセンター病院 リエゾン精神看護専門看護師	看護師 保健師	せん妄ケア～せん妄が食に与える影響～
すなはら みどり 砂原 みどり	茨城県立医療大学付属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師	看護師 保健師	ポジショニングと皮膚障害の視点から ～ケアの攻めると守る～
きよみや ゆうと 清宮 悠人	聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	食べるための口づくりと評価の視点

交流集会 EM

9月15日（金）17:30～18:30

第8会場 3F 303

交流集会6「在宅（多職種）」

嚥下内視鏡を用いた多職種協働嚥下機能評価の実際

コーディネーター/座長：川島 理（医療法人川島医院）

演者	所属	職種	演題
さいとう おさむ 齋藤 理	さいとう 歯科医院	歯科医師	摂食嚥下機能評価事業における歯科医師の立場から
いしだ がくや 石田 覚也	石田 歯科医院	歯科医師	摂食嚥下機能評価事業における歯科医師会の立場から
いだしんこ 井田 慎子	渋川中央病院	言語聴覚士	嚥下内視鏡を用いた多職種協働嚥下機能評価の実際 言語聴覚士の立場から
もり じゅんこ 森 順子	渋川中央病院	理学療法士	嚥下内視鏡を用いた多職種協働嚥下機能評価の実際 理学療法士の立場から
いしぎ ちあき 石関 ちあき	特別養護老人ホーム 永光荘	介護支援 専門員	介護専門員の立場から
おくいずみ としみ 奥泉 寿美	特別養護老人ホーム 永光荘	管理栄養士	管理栄養士の立場から
ながい ちほ 永井 千穂	訪問看護ステーション 渋川	訪問看護師	嚥下内視鏡を用いた多職種協働嚥下機能評価の実際

9月15日（金）17:30～18:30

第9会場 1F 103

交流集会7「理学・作業療法士」

摂食嚥下リハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の専門性

オーガナイザー：小泉 千秋（神奈川リハビリテーション病院 理学療法科）

座長：吉田 剛（高崎健康福祉大学）

中村 勇（茨城保健医療大学）

演者	所属	職種	演題
こいずみ ちあき 小泉 千秋	神奈川リハビリテーション病院 理学療法科	理学療法士	臨床現場からの報告
みなみ谷 さつき 南谷 さつき	前 訪問看護ステーション 仁 春日井	理学療法士	臨床現場からの報告
ささき たかし 佐々木 貴	神奈川リハビリテーション病院	作業療法士	臨床現場からの報告
たなべ ひろゆき 田辺 博之	茨城県立医療大学附属病院 リハビリテーション部作業療法科	作業療法士	臨床現場からの報告

9月15日（金）17:30～18:30

第10会場 1F 104

交流集会8「歯科医師」

終末期の患者の訪問歯科診療を考える

座長：中山 潤利（日本大学歯学部摂食機能療法学講座・歯科医）

演者	所属	職種	演題
てらもと こうへい 寺本 浩平	医療法人社団 LSM 寺本内科歯科クリニック	歯科医師	ナチュラルステージに向き合って ～看取る歯科医療～
あわや つよし 粟屋 剛	あわや 歯科医院	歯科医師	患者家族の希望を受け、地域の医療・介護職と 連携して終末期患者の経口摂取を支援した症例
やまぐち あけみ 山口 朱見	医療法人財団 千葉健愛会 あおぞら診療所	歯科医師	終末期における口腔ケア

ランチョンセミナー LS

9月15日（金）12:00～12:50

第2会場 2F コンベンションホールA

ランチョンセミナー1

座長：原 純也（武蔵野赤十字病院 栄養課）

演者	所属	職種	演題
きくたに たけし 菊谷 武	日本歯科大学口腔リハビリテーション 多摩クリニック	歯科医師	食べるを支える ～在宅支援の地域連携～

共催：マルハニチロ株式会社

9月15日（金）12:00～12:50

第3会場 2F コンベンションホールB

ランチョンセミナー2

座長：栢下 淳（県立広島大学）

演者	所属	職種	演題
おえ ゆきこ 麻植 有希子	ワタミ株式会社 健康長寿科学栄養研究所	管理栄養士 栄養士	栄養のプロに聞いてみよう！ 「足りていますか？嚥下調整食の栄養量」 ～学会分類2013と両立させるには～

共催：ニュートリー株式会社

9月15日（金）12:00～12:50

第4会場 2F 国際会議室

ランチョンセミナー3

座長：柴田 斉子（藤田保健衛生大学）

演者	所属	職種	演題
はせ たかし 長谷 剛志	公立能登総合病院 歯科口腔外科	歯科医師	「食べる力」から考える食形態の選択 ～咀嚼開始食品の位置づけと活用を探る～

共催：株式会社大塚製薬工場

9月16日（土）12:00～12:50

第2会場 2F コンベンションホールA

ランチョンセミナー4

座長：戸原 玄（東京医科歯科大学）

演者	所属	職種	演題
まえだ けいすけ 前田 圭介	玉名地域保健医療センター	医師	頸部経皮的電気刺激療法とはじめ

共催：株式会社フードケア/カレイド株式会社

ランチョンセミナー LS

9月16日（土）12:00～12:50

第3会場 2F コンベンションホールB

ランチョンセミナー5

座長：苅安 誠（京都学園大学 健康医療学部 言語聴覚学科）

演者	所属	職種	演題
おの たかひろ 小野 高裕	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	医学博士	生体計測から見えてくる「食べやすさ」と「おいしさ」

共催：株式会社クリニコ

9月16日（土）12:00～12:50

第5会場 2F 201

ランチョンセミナー6

座長：津田 豪太（聖隷佐倉市民病院）

演者	所属	職種	演題
すずき ともこ 鈴木 友子	千葉県立佐原病院 看護局	看護師 保健師	「食べたい」をかなえるために 臨床看護の現場から発信！そして地域につなげる

共催：バランス株式会社

9月16日（土）12:00～12:50

第6会場 3F 301

ランチョンセミナー7

座長：古屋 純一（東京医科歯科大学）

演者	所属	職種	演題
まつお こういちろう 松尾 浩一郎	藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科	歯科医師	口腔アセスメント（OHAT）による多職種連携の広がり－急性期病院から介護施設まで－

共催：アサヒグループ食品株式会社

9月16日（土）12:00～12:50

第9会場 1F 103

ランチョンセミナー8

座長：福岡 達之（広島国際大学）

演者	所属	職種	演題
つが かずひろ 津賀 一弘	広島大学大学院医歯薬保健学研究科	歯科医師	舌圧を摂食嚥下障害の予防とリハビリテーションに活かす

共催：株式会社ジェイ・エム・エス

市民公開講座

9月16日（土）13:00～14:00

第4会場 2F 国際会議室

市民公開講座

座長：旭 佐記子（茨城県立医療大学付属病院）

演 者	所 属	職 種	演 題
おおた ひとし 大田 仁史	茨城県立健康プラザ	医師	『超』高齢社会を尊厳を持って生き抜くために ～介護予防がキーワード～

一般演題 口演発表 9月15日(金) 第5会場 2F 201

9月15日(金) 9:50～10:50

1 脳血管障害

座長：下堂 蘭 恵 (鹿児島大学医歯学総合研究科 リハビリテーション医学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O1-1	まつしま やすゆき 松嶋 康之	産業医科大学 リハビリテーション医学講座	医師	輪状咽頭筋切断術後に3食経口摂取が可能となるまで長期間要したWallenberg症候群の1症例
O1-2	しばぎき しずか 柴崎 倭花	戸田中央リハビリテーション病院	言語聴覚士	訓練計画に基づいたリハビリテーションが奏効したWallenberg症候群の1例
O1-3	にしむら じゅんや 西村 潤也	川崎病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	薬剤性オーラルジスキネジアの発症を機に、食事の自己摂取を獲得した一例
O1-4	のむら めぐみ 野村 恵	東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科	医師	軟菜摂取自立となった重度舌運動障害、口腔顔面失行を合併した両側大脳脳梗塞の一例
O1-5	ふるかわ すくむ 古川 傑	昭和大学江東豊洲病院 耳鼻咽喉科	医師	耳鼻咽喉科医による嚥下機能評価が左後下小脳動脈領域脳塞栓症の診断のきっかけとなった1例
O1-6	かげやま こうた 影山 康太	総合南東北病院口腔外科	言語聴覚士	急性期脳梗塞における嚥下機能と舌圧の変化についての1例

9月15日(金) 10:50～11:40

2 地域リハ・在宅1

座長：石川 誠 (医療法人社団輝生会)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O2-1	きむら まみこ 木村 麻美子	衣笠病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	在宅訪問栄養指導で、歯科医と協働して在宅VEの評価を実施し、食形態と栄養状態の改善につながった1症例
O2-2	うまき よしふみ 馬木 良文	あおぞら内科	医師	在宅における包括的取り組みが奏功した筋強直性ジストロフィーの1症例 ～訪問診療の立場から～
O2-3	よしの まきこ 吉野 牧子	あおぞら内科 訪問看護ステーション	看護師 保健師	在宅において包括的取り組みが奏功した筋強直性筋ジストロフィーの1症例 ～訪問看護の立場から～
O2-4	えんどう ゆうこ 遠藤 裕子	ハートケア左近山	言語聴覚士	在宅における連携が有効であった一症例～求められるマネジメント能力～
O2-5	みじおか せいじ 藤岡 誠二	リハビリ訪問看護ステーション スマイリー	言語聴覚士	高齢者の嚥下困難感への一考-在宅で“口から食べる”を支えるために-

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第6会場 3F 301

9月15日(金) 9:50～10:50

3 多職種連携1

座長：浅見 豊子（佐賀大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
03-1	たかはし みずほ 高橋 瑞保	山形県立中央病院 栄養管理室	管理栄養士 栄養士	当院NSTに紹介された摂食嚥下困難症例の傾向と今後のチーム活動について
03-2	しまむら ともき 嶋村 知記	社会医療法人財団 白十字会 白十字病院 歯科口腔外科	歯科医師	NST回診における非経口摂取患者の実態と歯科介入についての検討
03-3	すずき まさる 鈴木 勝	医療法人偕行会 名古屋共立病院 リハビリテーション課	言語聴覚士	当院における栄養サポートチームの活動報告
03-4	さかい ひかり 境 日佳莉	介護老人保健施設 大分豊寿苑	言語聴覚士	当院におけるミールラウンドの概要とその有用性について
03-5	たかはし こういち 高橋 耕一	つがやす 歯科医院	歯科医師	当院が施行している老健および特養への訪問ミールラウンドについて
03-6	ゆき あやこ 遊佐 綾子	大原総合病院 総合リハビリテーション センター	言語聴覚士	当院嚥下チームの取り組みについて - 嚥下回診から拡がる他職種連携 -

9月15日(金) 10:50～11:50

4 多職種連携2

座長：岩佐 康行（原土井病院 歯科 摂食・栄養支援部）

演題番号	演者	所属	職種	演題
04-1	にしむら たけし 西村 武	あいちリハビリテーション病院 リハケア部	作業療法士	ADLシステムを利用したチームアプローチ
04-2	おおむら かずや 大村 和也	済生会横浜市東部病院 集中治療科	医師	多職種でのアプローチが不可欠であった誤嚥性肺炎の一例 - ICUから一般病棟へのバトンタッチ -
04-3	にしじま くみこ 西嶋 久美子	岡崎市民病院 看護局	看護師 保健師	多職種で支える経口摂取～急性期病院における早期経口摂取とその継続に対する取り組み～
04-4	そうだ ふみえ 宗田 史江	脳神経センター大田記念病院	看護師 保健師	多職種との関わりから家族が胃瘻造設の代理意思決定を行った一症例
04-5	い で かおり 居出 香	日本バプテスト病院NST	管理栄養士 栄養士	病院、介護施設との多職種連携によって、経口摂取のみで介護施設への退院が可能となった1症例
04-6	はままつ さきこ 濱松 早希子	河北リハビリテーション病院 セラピー部	言語聴覚士	摂食嚥下障害に対するチームアプローチ - Wallenberg 症候群を呈した一例を通して -

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第6会場 3F 301

9月15日(金) 14:40～15:40

5 脳血管障害・頭部外傷1

座長：平岡 崇（川崎医科大学 リハビリテーション医学教室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
05-1	かわき まさひろ 川木 雅裕	亀田総合病院 リハビリテーション室	理学療法士	脳卒中症例における入院時National Institutes of Health Stroke Scale(NIHSS)と退院時経口摂食状況の関係
05-2	くまもと のぶお 隈本 伸生	一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院	看護師 保健師	脳卒中病型別のNIHSSから見た経鼻胃管の離脱率
05-3	そめや あきのり 染谷 明德	つるみ脳神経外科 リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期脳血管再開通療法後患者の経口摂取の検討
05-4	こにし まさのり 小西 正訓	中村記念病院 耳鼻咽喉科	医師	脳卒中による球麻痺例の嚥下機能予後
05-5	おかざき ひでと 岡崎 英人	藤田保健衛生大学医学部 連携リハビリテーション 医学講座	医師	脳卒中患者における咽頭能力と認知機能が摂食嚥下に及ぼす影響について
05-6	あきた きょうこ 秋田 響子	兵庫県立リハビリテ ーション中央病院 リハビリ 療法部 言語聴覚療法科	言語聴覚士	長期ST訓練により楽しみレベルの食事の獲得に至った遷延性意識障害を呈した頭部外傷後遺症の一例

9月15日(金) 15:40～16:40

6 脳血管障害・頭部外傷2

座長：前島 伸一郎（藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学Ⅱ講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
06-1	きたむら あや 北村 綾	福井県済生会病院 看護部	看護師 保健師	脳卒中で重度麻痺を有した患者に「嚥下評価前チェック表」を用いた結果
06-2	あらかわ たけし 荒川 武士	専門学校東京医療学院 理学療法学科	理学療法士	脳血管障害により嚥下障害を呈した症例に対する理学療法士と言語聴覚士の同時介入の経験
06-3	あかぬま けんご 赤沼 賢吾	戸田中央リハビリテ ーション病院	言語聴覚士	重度身体障害に対する姿勢を重視した摂食嚥下リハビリテーションを実施した2例
06-4	なかお かよこ 中尾 加代子	広島共立病院 看護部	看護師 保健師	食べたい思いを支える ～安全な食事摂取を目指して～
06-5	はやしてつお 林 哲生	独立行政法人労働者健康 安全機構 総合せき損セン ター 整形外科	医師	急性期頸髄損傷における嚥下障害の危険因子
06-6	うめざわ ちえみ 梅澤 智恵美	志村大宮病院 茨城北西総合リハビリセ ンター	言語聴覚士	頸髄損傷により経口摂取困難となったが改善が認められた1例

一般演題 口演発表 9月15日(金) 第7会場 3F 302

9月15日(金) 9:50～10:50

7 食事・栄養1

座長：石野 智子（浜松市リハビリテーション病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
07-1	ふかだ いく 深田 育	鳥取大学医学部附属病院 栄養管理部	管理栄養士 栄養士	嚥下評価に付随した、栄養士による体組成計を用いた栄養評価の試み -嚥下改善術を行ったパーキンソン症例-
07-2	ふでたに こうじ 筆谷 浩司	千木病院	言語聴覚士	パーキンソニズム患者の咀嚼と嚥下に及ぼす食材の影響
07-3	このやま ひろみ 古松山 紘未	松波総合病院 リハビリテーション技術室	言語聴覚士	廃用症候群による嚥下障害を呈した患者への丁寧なチームアプローチが有効であった症例
07-4	ふじさわ ともや 藤澤 友弥	医療法人 横浜平成会 平成横浜病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	経管栄養から2年ぶりに経口摂取を目指した一症例
07-5	しまづ さゆり 嶋津 さゆり	熊本市リハビリテーション病院	管理栄養士 栄養士	脳卒中後嚥下障害治療に対する積極的エネルギー補給効果
07-6	むらた みゆき 村田 美幸	小松病院栄養科	管理栄養士 栄養士	pHモニタリング検査を用いたGERD患者の嚥下障害と食事内容検討について

9月15日(金) 10:50～11:50

8 食事・栄養2

座長：大宿 茂（兵庫県立淡路医療センター 言語神経心理室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
08-1	かもしだ きょうこ 鴨志田 恭子	昭和大学江東豊洲病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	ニュークックチルシステムにおける嚥下食の粥提供の検証
08-2	くめ まゆ 久米 真由	千里リハビリテーション病院	管理栄養士 栄養士	当院における飽和蒸気調理器を用いた嚥下調整食の取り組み (第4報：退院時指導と地域に向けた情報提供)
08-3	なかひがし まき 中東 真紀	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部	管理栄養士 栄養士	市販介護食を用いたアレンジレシピの有用性
08-4	なかがわ ゆうこ 中川 裕子	日本大学短期大学部 食物栄養学科	大学 専門学校等 教員	ユニバーサルデザインフード(UDF)の美味しさと食べやすさに関する検証
08-5	やなぎさわ なおと 柳澤 直人	中信勤労者医療協会 松本協立病院 調理科	調理師	嚥下食検討チームの試み ～嚥下に最も危険な餅を病院食で提供～
08-6	うえは るみ 上羽 瑠美	東京大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	嚥下障害患者がアルコールを楽しむための取り組みと実験的検証：第一報

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第7会場 3F 302

9月15日(金) 13:40 ~ 14:40

9 看護1

座長：浅田 美江（公益社団法人 愛知県看護協会）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O9-1	いちまんだ なみこ 一田 菜美子	大分大学医学部付属病院 看護部	看護師 保健師	誤嚥・窒息の早期対応に向けた入院時スクリーニングと定期的な摂食嚥下機能評価の導入
O9-2	うえやなぎ なつみ 上柳 菜摘	東京大学医学部付属病院 看護部	看護師 保健師	嚥下調査票を用いた摂食嚥下に関する患者情報収集の検討
O9-3	はたち 千づる 端 千づる	福井県済生会病院看護部	看護師 保健師	看護外来における専任としての認定看護師の役割について
O9-4	あべ まゆみ 阿部 真由美	筑波記念病院	看護師 保健師	摂食嚥下障害に関する継続看護サマリーの必要性と必要な情報項目の検討 —質問紙を使用した実態調査—
O9-5	やまの のりこ 山野 則子	長崎県上五島病院	看護師 保健師	摂食嚥下障害患者における看護の役割についての一考察
O9-6	おさだ ようこ 長田 陽子	山梨県立あけぼの医療福祉センター	看護師 保健師	重症心身障害児者施設における安全な食事体制を考えた取り組み

9月15日(金) 14:40 ~ 15:40

10 看護2

座長：三鬼 達人（藤田保健衛生大学病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O10-1	やまぐち みさと 山口 光里	長崎県五島中央病院	看護師 保健師	延髄梗塞による窒息リスクのある患者への援助
O10-2	おおつ ひろし 大津 比呂志	横浜市立脳卒中・神経脊 椎センター 看護部	看護師 保健師	頸椎前方手術後の早期嚥下障害の発生率およびリスク因子：後ろ向き研究
O10-3	いいた なおみ 飯田 尚美	吉備高原医療リハビリセ ンター看護部	看護師 保健師	摂食・嚥下障害看護認定看護師が見聞きした頸髄損傷患者の肯定的な変化のプロセス
O10-4	うい はるか 宇井 遥	千葉県立佐原病院 看護局 摂食嚥下リクナーズ会	看護師 保健師	手術後、左半側空間無視となった患者の視空間を拡大し、経口摂取を可能にした1症例
O10-5	つきしま さおり 月島 沙織	筑波記念病院 看護部	看護師 保健師	嚥下障害に対するバルーン拡張法実施における看護師介入の検討
O10-6	みちわき ゆきひろ 道脇 幸博	武蔵野赤十字病院 特殊歯科・口腔外科	歯科医師	寝たきり患者の食支援 — Swallow Vision [®] による至適体位の検討—

9月15日(金) 15:40 ~ 16:20

11 その他の治療

座長：岡島 康友（杏林大学医学部リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O11-1	むらかみ きよし 村上 清司	嶋田病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下障害患者に対する経頭蓋直流電気刺激の効果
O11-2	さとう よしとも 佐藤 義朝	いわてリハビリテーション センター	医師	食器用チルトテーブルの使用による、摂食動作改善効果
O11-3	よこびき あやか 横関 彩佳	倉敷記念病院	言語聴覚士	気管切開術施行症例に干渉波刺激装置を用いた摂食嚥下リハビリテーションの有用性
O11-4	あおやま けい 青山 圭	近森リハビリテーション 病院	医師	高解像度マノメトリを使用した、努力嚥下(hard swallow)が食道蠕動に及ぼす影響の検討

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第8会場 3F 303

9月15日(金) 9:50～10:50

12 訓練1

座長：太田 有美 (津山中央病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O12-1	たしろ あやみ 田代 綾美	元 熊本保健科学大学 大学院保健科学研究科 保健科学専攻 リハビリテーション領域	言語聴覚士	構音動作を用いた喉頭挙上訓練の検討 - 第I報 -
O12-2	たしろ あやみ 田代 綾美	元 熊本保健科学大学 大学院保健科学研究科 保健科学専攻 リハビリテーション領域	言語聴覚士	構音動作を用いた喉頭挙上訓練の検討 - 第II報 -
O12-3	まえだ けいすけ 前田 圭介	玉名地域保健医療センター 摂食嚥下栄養療法科	医師	摂食嚥下リハにおける頸部電気感覚刺激療法の効果 ～二重盲検ランダム化比較試験～
O12-4	わかばやし ひでたか 若林 秀隆	横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科	医師	嚥下障害のある在宅高齢者に対する嚥下筋のレジスタンストレーニングの効果：クラスターランダム化比較試験
O12-5	いぬかい てるみ 犬飼 晃見	名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	食道入口部開大不全の原因とアプローチについて
O12-6	さかい ことみ 堺 琴美	世田谷記念病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期疾患後のリハビリテーション患者におけるサルコペニアと嚥下障害改善の関連：前向き多施設共同研究

9月15日(金) 10:50～11:50

13 訓練2

座長：園田 茂 (藤田保健衛生大学 七栗記念病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O13-1	ましこ さおり 益子 紗緒里	行徳総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	低酸素脳症に対するレスパイト入院での嚥下訓練
O13-2	さいとう しょうた 齋藤 翔太	松村総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	食事を意識した訓練により咀嚼嚥下機能が改善した1症例
O13-3	まえかわ しずか 前川 静香	大阪急性期・総合医療センター	言語聴覚士	人工呼吸器管理下でカフを脱気することにより誤嚥を防止し経口摂取が可能になった頸髄損傷患者
O13-4	はたけやま れい 畠山 怜	牧リハビリテーション病院 言語聴覚療法科	言語聴覚士	喉頭気管分離術後咽頭通過不能状態のリハビリテーションで液体摂取可能となった一例
O13-5	さとう ありさ 佐藤 安梨紗	釧路孝仁会記念病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	段階的閉鎖訓練により、気管カニューレ抜去・経口摂取獲得に至った1症例
O13-6	おおはし ともき 大橋 知記	新潟リハビリテーション病院 言語聴覚科	言語聴覚士	訓練法の変更を試みた Wallenberg 症候群の一例

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第8会場 3F 303

9月15日(金) 13:40～14:40

14 地域リハ・在宅2

座長：石山 寿子（国際医療福祉大学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O14-1	いしだ ようこ 石田 洋子	医療法人社団 輝生会 在宅総合ケアセンター元浅草	医師	在宅にて1食経口摂取を獲得した1例
O14-2	かわの あさこ 川野 麻子	地域食支援グループ ハッピーリース	歯科衛生士	上行大動脈解離から多発性脳梗塞を起こし気管切開及び胃ろうになった患者に対して経口摂取を開始した一症例
O14-3	あべ なおこ 阿部 尚子	下越病院 リハビリテーション課	言語聴覚士	リハビリテーション会議を活用した多職種連携～訪問リハビリにて一部経口摂取が可能となった1例を通して～
O14-4	いどがわ ゆか 井戸川 由花	関東病院 リハビリテーション科	作業療法士	口から食べる可能性を地域につなぐ～地域包括ケア病棟でのレスパイト入院から在宅へ～
O14-5	きくら としひこ 木倉 敏彦	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内科	医師	自宅退院後に摂取レベルが改善するケースへの関わり
O14-6	こだま むつよ 児玉 睦代	潤和地域包括ケアセンター	言語聴覚士	家族指導を中心として訪問での関わり～言語聴覚士の立場から～

9月15日(金) 14:40～15:40

15 地域リハ・在宅3

座長：沢田 光思郎（京都府立医科大学リハビリテーション医学教室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O15-1	かまいし まりこ 釜石 絵利子	いわてリハビリテーションセンター	看護師 保健師	訪問看護師による摂食嚥下機能向上のための支援体制の構築
O15-2	よこた あやのり 横田 綾敦	上都賀総合病院 診療部栄養科	管理栄養士 栄養士	地域連携栄養ケア体制構築に向けて～切れ目ない栄養サポートを目指した取り組み～
O15-3	ながしま けんすけ 長嶋 健介	松本協立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	切れ目のない嚥下機能評価の体制作りを目指して
O15-4	いしりょうこ 石井 良子	宮城県リハビリテーション支援センター	歯科医師	宮城県内の摂食嚥下障害に対応可能な病院一覧作成の取り組み
O15-5	ふくだ さおり 福田 沙織	東部地域病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	葛飾区における共通栄養サマリー作成への取り組み
O15-6	おの ゆかり 小野 有香里	特定非営利活動法人 メディカルケア協会	薬剤師	地域住民による啓発活動の担い手「ごっくんリーダー」育成の試み

一般演題 口演発表 9月15日(金) 第8会場 3F 303

9月15日(金) 15:40～16:40

16 地域リハ・在宅4

座長：中山 剛志（日本福祉教育専門学校 言語聴覚療法学科／杏林大学医学部付属病院 摂食嚥下センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O16-1	萩野 未沙 はぎの みさ	JCHO中京病院 リハビリテーションセンター	言語聴覚士	老人ホームにおける摂食嚥下障害に関する調査とその課題
O16-2	戸田 美美 とだ ふみ	中京病院 リハビリテーション科	医師	老人ホームにおいて摂食嚥下障害に対する理解、ケアの向上をいかに図るか
O16-3	西山 耕一郎 にしやま こういちろう	西山耳鼻咽喉科医院	医師	診療所外来における嚥下障害の多職種による対応
O16-4	志藤 良子 しどう りょうこ	介護老人保健施設 茶山のさと	言語聴覚士	通所リハビリにおける咀嚼・嚥下能力調査
O16-5	古屋 裕康 ふるや ひろやす	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	在宅における経管栄養患者の経口摂取再開のための条件
O16-6	権元 大輝 かほもと はるき	篤友会リハビリテーションクリニック	言語聴覚士	質問紙票(EAT-10)を用いた訪問リハビリテーション利用者における嚥下障害リスク群の実態調査

一般演題 口演発表 9月15日(金) 第9会場 1F 103

9月15日(金) 9:50 ~ 10:50

17 診断・評価1

座長：鄭 漢忠 (北海道大学大学院歯学研究所 口腔顎顔面外科学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O17-1	こまつ ひろし 小松 寛	神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部	言語聴覚士	急性期病院における舌圧を用いた嚥下機能評価の検討第1報 嚥下機能の変化値と舌圧との関連から
O17-2	こまつ ひろし 小松 寛	神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部	言語聴覚士	急性期病院における舌圧を用いた嚥下機能評価の検討第2報 疾患と舌圧との関連から
O17-3	おかの ゆうじ 岡野 雄二	水無瀬病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	脳卒中患者に対する摂食姿勢の検討 ～最大舌圧値に着目して～
O17-4	かわさき ゆうじ 河崎 雄司	津山第一病院呼吸器内科	医師	血清ビタミンD濃度と舌圧との関係
O17-5	さかきばら まき 榊原 真紀	因島医師会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	特定高齢者を対象とした舌圧と身体機能の関連について
O17-6	さいとう なな 齋藤 奈奈	特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷	言語聴覚士	構音未習得の高齢聴覚障害者と聴者における舌圧の比較

9月15日(金) 10:50 ~ 11:50

18 診断・評価2

座長：玄 景華 (朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O18-1	なかむら よしのぶ 中村 吉伸	小松島病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	脳血管疾患患者における摂食嚥下機能と開口力の関係
O18-2	くぼ みちや 久保 道也	富山県済生会富山病院脳卒中センター脳神経外科	医師	aberrant right subclavian arteryのsubtypeと嚥下障害
O18-3	おおた きくお 太田 喜久夫	国際医療福祉大学医学部 リハビリテーション医学 国際医療福祉大学病院 リハビリテーション科	医師	咽頭収縮不良例におけるVEによる食道入口部開大所見の検討
O18-4	すぎした しゅうへい 杉下 周平	高砂市民病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	加齢による嚥下動態の変化：嚥下造影定量解析の結果から
O18-5	はしもと なおゆき 橋本 直之	金沢大学附属病院 リハビリテーション部	理学療法士	BMIの高低と食形態向上の関係について
O18-6	にしおか ゆき 西岡 由樹	群馬大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	医師	NG-tube咽頭交差挿入の嚥下機能に対する影響

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第9会場 1F 103

9月15日(金) 13:40～14:40

19 診断・評価3

座長：重松 孝 (浜松市リハビリテーション病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O19-1	井出 みず希	浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下造影画像を用いた簡便な口蓋の高さの計測方法の検討
O19-2	三浦 由佳	金沢大学 新学術創成研究機構	看護師 保健師	エコーを用いた梨状窩と喉頭蓋谷の嚥下後の残留物の観察方法の開発
O19-3	荒殿 清美	熊本託麻台リハビリテーション病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	ジェット式ネブライザーを用いた咳テストの有用性の検討
O19-4	田中 加緒里	愛媛大学耳鼻咽喉科	医師	High-resolution impedance manometryによる嚥下機能評価
O19-5	庄司 茂	東北大学大学院 歯学研究科	歯科医師	モーター・ポイントと空気袋を用いた嚥下センサーにおけるセンサー形状の関わりに関する研究
O19-6	増田 容子	藤田保健衛生大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下障害を有する脳幹障害患者の咽頭・UES圧パラメーター - HRMを用いた検討 -

9月15日(金) 14:40～15:40

20 診断・評価4

座長：太田 喜久夫 (国際医療福祉大学病院 リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O20-1	金森 大輔	藤田保健衛生大学 医学部 七栗記念病院 歯科	歯科医師	嚥下CTを用いた脳卒中患者の準備期・口腔期
O20-2	梅村 公子	富山県済生会富山病院 脳卒中センター 脳神経外科	医師	4D-CTを用いたDISH(Forestier病)における嚥下障害進行度評価
O20-3	青柳 陽一郎	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学I 講座	医師	嚥下反射中の圧パラメータ変化に関する解剖学的基盤 -高解像度マノメトリーと嚥下CTを用いた検討-
O20-4	小川 真	大阪大学 大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	高速度撮影装置を用いた嚥下内視鏡検査におけるフレーム数の違いによる咽喉頭運動の視覚認識の比較
O20-5	山本 祐士	鹿児島大学大学院 歯学総合研究科 小児歯科学分野	歯科医師	3Dカメラを応用した新規摂食嚥下機能評価システムの開発
O20-6	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター病院 放射線科	放射線技師	嚥下造影検査における画像解析のための画像処理の一案

一般演題 口演発表 9月15日(金) 第9会場 1F 103

9月15日(金) 15:40 ~ 16:40

21 診断・評価5

座長：大仲 功一（志村大宮病院 茨城北西総合リハビリテーションセンター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O21-1	ほりいけ しょうた 堀池 正太	大同病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	摂食嚥下機能のスクリーニングにおける栄養管理手段と食事形態の判断への関連
O21-2	ほりいけ しょうた 堀池 正太	大同病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	摂食嚥下機能のスクリーニングとしてのMASA各評価項目の検討
O21-3	おおはし みほ 大橋 美穂	藤田保健衛生大学坂文種 報徳會病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	心臓リハビリテーション施行患者における嚥下スクリーニングからみた嚥下障害の予測
O21-4	にしむら りつ 西村 立	総合病院聖隷浜松病院 リハビリテーション科	医師	急性期病院において早期摂食開始目的での嚥下スクリーニング法の検討
O21-5	いけだ まゆみ 池田 真弓	藤田保健衛生大学病院 看護部	看護師 保健師	嚥下スクリーニング検査TOR-BSST日本版の検者間信頼性の検討
O21-6	うえやなぎ なつみ 上柳 菜摘	東京大学医学部附属病院 看護部	看護師 保健師	嚥下調査票を用いた摂食嚥下障害予測評価と嚥下機能検査結果の一致率の比較検討

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第10会場 1F 104

9月15日(金) 9:50～10:50

22 災害/教育・研修1

座長：山之内 直也（独立行政法人佐賀県医療センター好生館）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O22-1	野崎 園子 <small>のざき そのこ</small>	関西労災病院 神経内科	医師	災害時の避難所生活における摂食嚥下・栄養支援に関する調査研究 第一報
O22-2	高月 容子 <small>たかつき ようこ</small>	兵庫県立姫路循環器病センター	言語聴覚士	災害時における言語聴覚士の介入時期について—熊本地震での活動を通して—
O22-3	松田 直美 <small>まつだ なおみ</small>	チャンス総合学院	看護師 保健師	地域住民への摂食嚥下関連からの誤嚥性肺炎予防の研修成果 -これからも健康寿命deいこう2年間の検証-
O22-4	小山西 淳子 <small>おさない じゆんこ</small>	手稲溪仁会病院	看護師 保健師	嚥下障害患者を想定した食事介助の参加体験型学習の効果に関する検討
O22-5	竹市 美加 <small>たけいち みか</small>	口から食べる幸せを守る会	看護師 保健師	食支援スキルの向上に向けた教育的アプローチ（第5報）～実技セミナー参加者への追跡アンケート調査から～
O22-6	森山 大介 <small>もりやま だいすけ</small>	中部労災病院栄養管理部	管理栄養士 栄養士	嚥下調整食学習会参加者の行動変容が示す学習会の効果について

9月15日(金) 10:50～11:30

23 教育・研修2

座長：小笠原 正（松本歯科大学 障がい者歯科学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O23-1	飯原 由貴子 <small>いいはら ゆきこ</small>	国立病院機構 千葉医療センター	看護師 保健師	摂食・嚥下障害看護院内認定看護師育成の成果と課題
O23-2	中尾 加代子 <small>なかお かよこ</small>	広島共立病院	看護師 保健師	摂食嚥下障害患者を支援する院内看護師教育—摂食嚥下看護チームでの活動—
O23-3	山本 奈緒美 <small>やまもと なおみ</small>	横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	看護師 保健師	横浜嚥下障害症例検討会の通年講座の実習での患者体験を通して見えてきたもの
O23-4	濱田 浩子 <small>はまた ひろこ</small>	大阪発達総合療育センター リハビリテーション部	言語聴覚士	当センターリハビリテーション部における喀痰吸引研修

9月15日(金) 13:40～14:40

24 基礎1

座長：内山 靖（名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O24-1	谷口 裕重 <small>たにぐち ひろしげ</small>	藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科	歯科医師	嚥下運動を誘発する新たな手法の開発 -食道刺激を利用した方法-
O24-2	真柄 仁 <small>まがら じん</small>	新潟大学大学院 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	口腔内への温度刺激がもたらす感覚運動統合の変調
O24-3	昆 はるか <small>こん はるか</small>	新潟大学大学院医歯学総合 研究科包括歯科補綴学分野	歯科医師	体幹傾斜と頸部、頭部屈曲が咀嚼運動に与える影響
O24-4	阿志賀 大和 <small>あしが ひろかず</small>	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	言語聴覚士	咀嚼の意識化が摂食嚥下運動に与える影響
O24-5	大川 純平 <small>おおかわ じゆんぺい</small>	新潟大学大学院 包括歯科補綴学分野	歯科医師	液体嚥下時における舌圧と咽頭への食塊移送との関連
O24-6	伊藤 直樹 <small>いとう なおき</small>	札幌市歯科医師会 口腔医療センター	歯科医師	ヒト舌、咽頭、食道における筋走行の形態学的共通性と特異性

一般演題 □演発表 9月15日(金) 第10会場 1F 104

9月15日(金) 14:40 ~ 15:40

25 基礎2

座長：松尾 浩一郎（藤田保健衛生大学 医学部 歯科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O25-1	よこつか じゅん 横塚 純	公益財団法人 星総合病院	言語聴覚士	経口摂取獲得に影響を与える因子の抽出と予後予測の検討
O25-2	まえだ るみこ 前田 留美子	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	言語聴覚士	米飯咀嚼時の食塊形成と嚥下閾値の有無
O25-3	かたぎり ひろゆき 片桐 啓之	小千谷総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期病院で仮性球麻痺症状を呈する患者の実態調査
O25-4	ながお けいすけ 長尾 圭祐	袖ヶ浦さつき台病院	言語聴覚士	当院回復期病棟における嚥下障害患者の傾向について
O25-5	なべくら ともこ 鍋倉 智子	花川病院 リハビリテーション部 言語療法科	言語聴覚士	当院回復期病棟における最大舌圧と身体・認知・発話・摂食嚥下機能及び栄養状態の関連性について
O25-6	よしみ じろう 吉見 二郎	ミナミ歯科クリニック	歯科医師	嚥下内視鏡検査におけるホワイトアウト時間と最大舌圧の関連性についての検討

9月15日(金) 15:40 ~ 16:40

26 基礎3

座長：馬庭 壯吉（島根大学リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O26-1	とやま よしお 外山 義雄	株式会社 明治 研究本部	企業関係者	とろみ嚥下時の器官運動で嚥下可能な食塊粘度範囲の推定 -Swallow Vision [®] による検討-
O26-2	はしもと ひろあき 橋本 洋章	大阪大学大学院 医学系研究科脳神経外科	医師	ヒト頭蓋内電極 (ECoG) を用いた嚥下時脳機能の解明：嚥下 BMI の実現を目指して
O26-3	いいた ゆきひろ 飯田 幸弘	朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 歯科放射線学分野	歯科医師	体表面の三次元動画をシンクロさせたビデオ嚥下造影検査
O26-4	あさの じゅんや 浅野 純弥	徳島大学大学院先端技術 科学教育部システム創生 工学専攻電気電子創生工 学コース	学生 大学院生	磁気センサを用いた自動反復唾液嚥下テストの小型化
O26-5	みちわき ゆきひろ 道脇 幸博	武蔵野赤十字病院 特殊歯科・口腔外科	歯科医師	計算機シミュレーションによる力の推定 -マノメトリーの意義を考える-
O26-6	かみや てつ 神谷 哲	株式会社 明治 研究本部	企業関係者	生体表面の潤滑と摩擦を考慮した食塊の動的特性計測装置の開発

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第2会場 2F コンベンションホールA

9月16日(土) 8:50～9:50

27 誤嚥性肺炎1

座長：齋島 桂子（浜松医療センター 歯科口腔外科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O27-1	はやた まゆみ 早田 真由美	日本大学歯学部 摂食機能療法学講座	歯科医師	口腔細菌による誤嚥性肺炎発症メカニズムの解明(1) P.gingivalisは肺炎球菌レセプター PAFRの発現を誘導する
O27-2	みやがみ みつすけ 宮上 光祐	竹の塚脳神経リハビリテーション病院	医師	回復期脳血管障害経管栄養例の誤嚥性肺炎の発症要因と転帰
O27-3	さかぐち くみこ 坂口 紅美子	鹿児島赤十字病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	誤嚥性肺炎の予後と栄養状態、腹直筋・大胸筋の関連 —第2報—
O27-4	なかしま たけし 中島 健	国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔外科	歯科医師	誤嚥性肺炎患者の不顕性誤嚥と関連因子についての検討
O27-5	やまうち しょうた 山内 翔太	町田市民病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期誤嚥性肺炎患者における入院時栄養指標と嚥下機能予後（退院時摂食状況）の関係
O27-6	こうじろ みさと 神代 美里	戸畑共立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	自宅退院した重度嚥下障害を呈した高齢肺炎患者の長期経過と転帰 ～経過不良例と経過良好例の後方視的検討～

9月16日(土) 9:50～10:50

28 誤嚥性肺炎2

座長：安岡 利一（医療法人社団 筑波記念会 筑波記念病院 リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O28-1	いぬかい たかえ 犬飼 貴恵	津島市民病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	当院における肺炎患者の嚥下機能の特徴
O28-2	なかむら ともゆき 中村 智之	足利赤十字病院 リハビリテーション科	医師	肺炎入院患者における早期言語聴覚療法の効果
O28-3	あらい ひろこ 油井 比呂子	小倉記念病院	看護師 保健師	誤嚥性肺炎を予防するための継続的な看護介入について
O28-4	たけいち みか 竹市 美加	ナチュラルスマイル西宮 北口歯科	看護師 保健師	KTバランスチャートを活用した包括的食支援により、食べる幸せを取り戻した一例
O28-5	かい あけみ 甲斐 明美	調布東山病院 看護部	看護師 保健師	サルコペニア嚥下障害のKTBC推移 —急性期から在宅へ移行した一症例—
O28-6	わたりがち としたか 渡口 賢隆	愛知県厚生連 豊田厚生病院 総合内科	医師	食道期嚥下障害、胃食道逆流症（GERD）により肺炎を来した外科術後症例

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第3会場 2F コンベンションホールB

9月16日(土) 8:50～9:50

29 口腔ケア

座長：牛山 京子（一般社団法人 山梨県歯科衛生士会）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O29-1	やまだ 山田 あつみ	日本医歯薬専門学校 歯科衛生士学科	歯科衛生士	口腔ケアシートに関するアンケート調査 ー第一報ー
O29-2	こじま 小島 三枝	特別養護老人ホーム 楓林花の里	管理栄養士 栄養士	特別養護老人ホームの介護職員による口腔内ア セスメントの実施と食形態への影響
O29-3	さかぐち 坂口 奈美子	富山県済生会富山病院 歯科口腔外科	歯科衛生士	脳外科病棟および脳卒中センターの看護師全員 に行った口腔ケアの個別指導による効果 ーアンケート調査からー
O29-4	えとう 衛藤 恵美	大分リハビリテーション 病院口腔衛生課	歯科衛生士	回復期病棟における医科歯科連携と口腔環境に ついて ～かかりつけ歯科の有無による口腔環境につい て～
O29-5	あさひな 朝比奈 伯明	松本歯科大学障害者歯科	歯科医師	咽頭の付着物と口腔乾燥状態
O29-6	みやはら 宮原 康太	松本歯科大学 障害者歯科学講座	歯科医師	粘膜ケアによる口腔剥離上皮膜の形成予防効果

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第5会場 2F 201

9月16日(土) 9:00～9:50

30 終末期

座長：野原 幹司 (大阪大学大学院歯学研究科・顎口腔機能治療学教室)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O30-1	ひらお ゆみ 平尾 由美	社会医療法人 清風会 日本原病院	言語聴覚士	地域包括ケア病棟から緩和ケアを ～KTバランスチャートから繋がった症例
O30-2	かとう せつこ 加藤 節子	ちゅうざん病院	看護師 保健師	下咽頭癌末期で口から食べられず死を免れない 人に対し看護師として何ができたか
O30-3	はら じゅんいち 原 純一	きらり健康生活協同組合 上松川診療所 歯科口腔外科	歯科医師	終末期でむせが期待できない重度嚥下障害患者 の誤嚥対応に有効な完全側臥位
O30-4	いのうえ とうた 井上 登太	在宅支援有床診療所 みえ呼吸嚥下リハビリク リニック	医師	終末期症例における最終摂食時の身体状態評価
O30-5	かんの しゅんすけ 神野 俊介	みらい病院／介護老人保 健施設みらいのさと太陽 リハビリテーション科	理学療法士	終末期におけるQOL向上のために在宅ボラン ティアチームが関わった重度嚥下障害患者の一例

9月16日(土) 14:00～14:50

31 外科治療

座長：田山 二郎 (国立国際医療研究センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O31-1	たちばな ひろあき 立花 広明	名古屋市立西部医療セン ター リハビリテーション科	言語聴覚士	観血的固定術前の嚥下造影検査が嚥下機能に影 響をきたした頸椎症性脊髄症の1例
O31-2	はぎわら さとえ 萩原 里恵	浜松市リハビリテーション 病院 えんげと声のセンター	言語聴覚士	STの関わった誤嚥防止手術症例とその倫理的 ジレンマ
O31-3	きはら さとし 木原 智史	鳥取大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科	医師	頸椎固定プレート抜去術後の嚥下障害症例
O31-4	ながお あすか 長尾 明日香	高知大学 医学部附属病院耳鼻咽喉 科学教室	医師	輪状咽頭嚥下困難症を呈し筋病理により診断さ れたミオパチー型筋サルコイドーシスの2例
O31-5	ふじわら かずのり 藤原 和典	鳥取大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 分野	医師	術中透視を用いた内視鏡下経口の輪状咽頭筋切 除術の検討

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第6会場 3F 301

9月16日(土) 8:50～9:50

32 高齢者1

座長：梅本 丈二（福岡大学病院歯科口腔外科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O32-1	あらまき こうへい 荒巻 浩平	九州中央病院 摂食嚥下チーム	言語聴覚士	片側反回神経麻痺による嚥下障害に対して頸部回旋法を併用し経口摂取が可能となった1例
O32-2	あさくら たかひろ 朝倉 敬博	医療法人 松徳会 花の丘病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	経管栄養から脱却し経口摂取移行可能となった成人ダウン症患者の1例
O32-3	たなか けいこ 田中 恵子	医療法人財団尚温会総合 リハビリテーション伊予病 院リハビリテーション部	言語聴覚士	誤嚥性肺炎後の摂食嚥下リハビリテーション-90歳認知症患者の1例-
O32-4	こばやし さおり 小林 沙織	公立松任石川中央病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	初期評価の予測に反して経口摂取が自立できた超高齢者嚥下障害例
O32-5	すぎうら けいこ 杉浦 啓子	宝塚せいれいの里	管理栄養士 栄養士	高齢者施設における咀嚼力低下入居者への食支援
O32-6	ふるた よしえ 古田 良恵	つくばセントラル病院	看護師 保健師	高齢者施設コスモス園での行事食の試み～嚥下障害食で和を楽しむ～

9月16日(土) 9:50～10:50

33 高齢者2

座長：上月 正博（東北大学大学院医学系研究科 機能医科学講座 内部障害学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O33-1	きんじょう あき 金城 亜紀	公立学校共済組合九州中 央病院 リハビリテーション科 摂食嚥下チーム	歯科医師	摂食嚥下外来を受診する胃瘻患者の経口摂取状況と摂食嚥下能力に関する検討
O33-2	いまい たかひさ 今井 教仁	市立芦屋病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	高齢嚥下障害患者における舌の厚みと舌圧及び嚥下機能の関連
O33-3	しのはら せいいち 篠原 精一	白川病院	言語聴覚士	デイケアにおける低栄養と嚥下障害の関連性の検証：MNA-SFとEAT-10の比較から
O33-4	しらはせりゅういち 白波瀬 龍一	医療法人社団秀和会 つがやす歯科	歯科医師	高齢摂食嚥下障害者における咬合状態と摂食嚥下機能の関連について
O33-5	ばんば こうじ 番場 康治	松原徳洲会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	高齢者における食物窒息例の嚥下機能についての検討
O33-6	こうち いづみ 高地 いづみ	神戸市立医療センター中 央市民病院 歯科口腔外科	歯科医師	5年間に当院を受診した歯科補綴物の誤飲・誤嚥62例の検討

一般演題 □演発表 9月16日(土) 第6会場 3F 301

9月16日(土) 10:50～11:40

34 高齢者3

座長：菅 武雄（鶴見大学 歯学部 高齢者歯科学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O34-1	てらなか さとし 寺中 智	足利赤十字病院 リハビリテーション科	歯科医師	有病高齢者におけるLMペクチンゼリーとカラギーナンゼリーの使用特性 ～嚥下内視鏡下での比較検討～
O34-2	すずき ふみひこ 鈴木 史彦	奥羽大学歯学部 地域医療支援歯科 (口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション)	歯科医師	要介護高齢者におけるミールラウンドと嚥下内視鏡検査の比較調査
O34-3	としま ひろこ 豊島 裕子	千葉県立保健医療大学 健康科学部栄養学科	医師	頸部表面筋電図smoothing波形による嚥下機能評価の試み
O34-4	しみず あきお 清水 昭雄	しげい病院栄養管理部	管理栄養士 栄養士	回復期リハビリテーション病棟入院時のプレサルコペニアと嚥下障害は関連するか
O34-5	ふじもと あき 藤本 亜希	神奈川県立がんセンター リハビリテーションセンター	言語聴覚士	高齢者の周術期がんリハビリテーションの取り組み

9月16日(土) 13:00～14:00

35 多職種連携3

座長：久保 高明（熊本保健科学大学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O35-1	やました ひろふみ 山下 裕史	熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚科	言語聴覚士	包括的評価指標KTバランスチャートの活用 ～3食経口摂取移行率向上を目指して～
O35-2	かわた みほ 河田 美穂	京都民医連第二中央病院	看護師 保健師	口腔摂食嚥下アセスメントシートを導入して
O35-3	いとう ただひろ 伊藤 唯博	HITO病院 リハビリテーション部 リハビリテーション科	言語聴覚士	多職種で摂食嚥下機能を理解するために動画を用いた情報共有の検討
O35-4	みやさか まふみ 宮坂 真史	松本協立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	チームアプローチによる退院時の統一した嚥下・調理方法の指導書の作成
O35-5	しぶや えいすけ 澁谷 英介	渋谷歯科医院	歯科医師	ミールラウンドにおける頸部聴診の「見える化」による情報共有
O35-6	ほんだ ひろみ 本田 裕美	南部病院看護部	看護師 保健師	小規模病院における摂食機能療法への取り組み

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第6会場 3F 301

9月16日(土) 14:00～15:00

36 多職種連携4

座長：道免 和久（兵庫医科大学リハビリテーション医学教室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O36-1	なかやま あきお 仲山 晃生	順心リハビリテーション病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	摂食嚥下チームの活動と成果
O36-2	まつみや はるひこ 松宮 春彦	ちとせデンタルクリニック 訪問診療部	歯科医師	在宅高齢者医療における同一法人内多職種連携での摂食嚥下障害へのアプローチ
O36-3	ほんま ひさえ 本間 久恵	愛仁歯科医院 口腔機能支援センターさ いわい	歯科衛生士	高齢者施設での歯科衛生士業務とその評価についての考察 ～歯科衛生士活用の課題と将来性～
O36-4	かねこ やすよ 金子 泰代	立川記念病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	当院における誤嚥窒息防止チームの取り組み ～立ち上げから1年、院内アンケート結果からみえる現状と課題～
O36-5	すずき かおるこ 鈴木 薫子	(株)日立製作所日立総合 病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	当院の医療事故防止対策 ～摂食嚥下の領域における栄養部門の役割～
O36-6	しのはら ゆづき 篠原 弓月	地域食支援グループハッ ピーリーブス	歯科衛生士	介護職を対象とした食支援勉強会の必要性 -ヘルパーワーキンググループの取り組み-

一般演題 □演発表 9月16日(土) 第7会場 3F 302

9月16日(土) 8:50～9:50

37 食事・栄養3

座長：黒田 留美子（高齢者ソフト食研究会 会長）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O37-1	和田 義敬 わだ よしたか	昭和大学医学部 リハビリテーション医学 講座	医師	回復期リハビリテーション病棟におけるMNA-SFでの評価は転帰の予測に有用か？：入院時経管栄養患者での検討
O37-2	西岡 心大 にしおか しんた	長崎リハビリテーション 病院 栄養管理室	管理栄養士 栄養士	回復期非経口摂取患者における栄養状態、口腔状態と経口摂取との関連：単施設後ろ向きコホート研究
O37-3	床井 多恵 とこい たえ	介護老人保健施設 茶山のさと	管理栄養士 栄養士	通所利用高齢者の栄養状態と口腔機能の関係
O37-4	鬼頭 司 きとう つかさ	鶴飼リハビリテーション 病院	言語聴覚士	回復期リハビリテーションにおける経管栄養の離脱要因に関する検討
O37-5	中澤 悠里 なかざわ ゆり	藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科	歯科医師	周術期がん患者における術後の舌圧低下と食形態改善日数との関連性
O37-6	安井 由香 やすい ゆか	大阪歯科大学 有歯補綴咬合学科	歯科医師	無意識下での嗜好からみた食品形態の違いと食事摂取量との関連

9月16日(土) 9:50～10:50

38 食事・栄養4

座長：吉岡 慶子（中村学園大学名誉教授）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O38-1	宮川 具子 みやかわ ともこ	弘前脳卒中・リハビリ テーションセンター	言語聴覚士	青森県の嚥下調整食の実態 ～嚥下障害に関する研修会でのアンケート結果から～
O38-2	大洞 佳代子 おおぼら かよこ	近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション科	医師	当院の救急災害棟での適切な食事提供について
O38-3	高野 佑子 たかの ゆうこ	茨城県立医療大学附属病院 医療技術部 栄養科	管理栄養士 栄養士	『日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013』に即した嚥下調整食の基準の改正について
O38-4	佐野 直美 さの なおみ	富士いきいき病院	管理栄養士 栄養士	富士・富士宮地区の病院と高齢者施設における食形態調査
O38-5	山口 裕樹 やまぐち ひろき	原土井病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	地域の介護保険施設における食事ととろみの分類
O38-6	木村 麻美子 きむら まみこ	衣笠病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	神奈川県横須賀地区で地域の店舗の商品を含む市販嚥下食のフルコースで開催したランチョンセミナーの試み

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第7会場 3F 302

9月16日(土) 10:50～11:30

39 食事・栄養5

座長：和田 恵美子（近森リハビリテーション病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O39-1	なりた ゆういち 成田 雄一	関東病院	作業療法士	療養型病院における摂食嚥下障害の実態と介入効果 -多職種協同と栄養改善が与える影響-
O39-2	なかむら めいこ 中村 芽以子	東邦大学医療センター大森病院 栄養治療センター	管理栄養士 栄養士	嚥下障害対策チーム介入時に栄養指導を実施した入院患者の再入院に対する実態調査 ～現状と課題～
O39-3	ますだ くにこ 増田 邦子	特別養護老人ホーム しゃんぐりら	管理栄養士 栄養士	特養老人ホーム栄養士による在宅高齢摂食嚥下障害患者への食事指導の試み
O39-4	しもかさ けんじ 下笠 賢二	筑波技術大学産業情報学科	大学 専門学校等 教員	X線造影剤が増粘剤粘度に及ぼす影響

9月16日(土) 13:00～14:00

40 食事・栄養6

座長：神山 かおる（農研機構食品研究部門）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O40-1	みやした たけし 宮下 剛	森田病院	言語聴覚士	シロップ製剤におけるとろみの調整法とLST値について
O40-2	たかはし ともこ 高橋 智子	神奈川工科大学 応用バイオ科学部 栄養生命科学科	大学 専門学校等 教員	加熱人参を具材として含む米粥の力学的特性と口腔感覚の関係
O40-3	ほしの たかよし 干野 隆芳	アヲハタ株式会社 開発本部研究センター	企業関係者	ショートバックエクストルージョン(SBE)法によるお粥の物性値と市販の米加工品の物性比較
O40-4	演題取り下げ			
O40-5	あべ さちよ 阿部 幸代	稲次整形外科病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	座位姿勢が咀嚼・嚥下能力に与える影響について
O40-6	まつだ こうじろう 松田 孝二郎	株式会社グリーンタウン 呼吸嚥下ケアプランニング	介護・福祉 専門職	スプーンの形状、柄の違いによる使用感の相違

9月16日(土) 14:00～14:40

41 補綴・装具・治療機器1

座長：金高 弘恭（東北大学大学院歯学研究科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O41-1	あかほり りょうこ 赤堀 遼子	藤田保健衛生大医学部 リハビリテーション医学I 講座	医師	ダブルバルーンカテーテルによる食道入口部拡張法の効果 -急性期延髄梗塞の一例-
O41-2	しばた せいこ 柴田 斉子	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学I 講座	医師	ダブルバルーンカテーテルによる食道入口部拡張法の効果 慢性期延髄梗塞の一例
O41-3	さとう あつし 佐藤 厚	新潟リハビリテーション 大学 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	言語聴覚士	干渉電流型低周波治療器使用時の唾液分泌量と嚥下機能促進効果
O41-4	きくち くみこ 菊池 久美子	医療法人社団愛徳会	歯科衛生士	口腔ケア困難者にナノ化銀加工義歯による補助的減菌法の導入の研究

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第7会場 3F 302

9月16日(土) 15:00 ~ 15:50

42 補綴・装具・治療機器2

座長：松山 美和（徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔機能管理学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O42-1	たなか よしこ 田中 佳子	介護老人保健施設 ウエルハウス清和台	言語聴覚士	胃瘻造設後介護老人保健施設に入所し、干渉波電気刺激療法をきっかけに食事再開できた一例
O42-2	あおき けんた 青木 健太	中谷病院言語聴覚療法科	言語聴覚士	脳出血後に意識障害を認め、頸部干渉波刺激装置を使用し、一部経口摂取可能となった一例
O42-3	いのうえ さやか 井上 さやか	富山県済生会富山病院 歯科口腔外科	歯科医師	中咽頭癌に対する化学放射線療法後の嚥下障害に対してスプリント型嚥下補助装置が奏功した一例
O42-4	いわさき あきのり 岩崎 昭憲	香川大学医学部 歯科口腔外科学講座	歯科医師	頭頸部癌術後に舌機能を喪失した患者に対して舌接触補助床を用いて摂食嚥下障害の改善を図った2症例
O42-5	ささき りきまる 佐々木 力丸	日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科	歯科医師	新しい設計の人工舌床を用いた摂食嚥下リハビリテーションにより下咽頭収縮の改善を認めた症例

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第8会場 3F 303

9月16日(土) 8:50～9:40

43 口腔・頭頸部疾患1

座長：大重 日出男（桑名西医療センター 歯科口腔外科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O43-1	くわはら たくろう 栞原 拓朗	栃木医療センター リハビリテーション科	言語聴覚士	口腔癌患者を対象とした術前後における最大舌圧の変化について
O43-2	さかい かつひこ 酒井 克彦	東京歯科大学 オーラルメデシン・口腔 外科学講座	歯科医師	舌・口底がんで切除再建術を行った症例の術後嚥下機能に関する検討
O43-3	かとう ちえり 加藤 智絵里	大阪大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	言語聴覚士	切除・再建術後に嚥下リハビリテーションを施行した口腔・中咽頭癌の患者の嚥下機能の検討
O43-4	おかもと りえ 岡本 梨江	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	当院における口腔がん術後患者の食形態について
O43-5	とわた たかし 砥綿 敬史	東海大学医学部附属病院 リハビリテーション技術科	言語聴覚士	舌垂全摘出術および両側頸部郭清術後、重度咽頭期障害を呈した3症例

9月16日(土) 9:50～10:50

44 口腔・頭頸部疾患2

座長：谷合 信一（防衛医科大学校 耳鼻咽喉科学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O44-1	さかい りょうた 境 良太	鶴田病院リハビリテ ーションセンター	言語聴覚士	頭部拳上運動と頸部屈曲運動を個別に評価、訓練し、3食経口摂取に至った食道癌全摘術後の一症例
O44-2	のむら ともこ 野村 智子	倉敷中央病院リハビリ テーション部	言語聴覚士	左歯肉癌術後患者の嚥下障害の原因に関する検討
O44-3	かわおか みずき 河岡 瑞希	倉敷中央病院リハビリ テーション部	言語聴覚士	内視鏡的咽喉頭手術後に嚥下障害を呈した症例
O44-4	たかつ じゅん 高津 淳	愛知県がんセンター中央病 院 リハビリテーション部	言語聴覚士	中咽頭癌治療後の嚥下リハビリテーションに対する定量的解析
O44-5	おおにし さやこ 大西 紗也子	日本大学大学院歯学研究科 歯学専攻口腔健康科学分野	歯科医師	頭頸部癌患者に対する摂食嚥下リハビリテーション介入の意義についての質的研究
O44-6	いいの よしえ 飯野 由恵	国立がん研究センター東 病院 骨軟部腫瘍・リハビ リテーション科	言語聴覚士	(化学)放射線治療後晩期有害事象による嚥下障害について

9月16日(土) 10:50～11:30

45 ADL・QOLその他

座長：西尾 正輝（新潟医療福祉大学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O45-1	のむら まゆこ 野村 麻優子	相澤病院 内部疾患 リハビリテーションセン ター	言語聴覚士	NPPV療法中のポリオ後遺症の一例 -食事中の呼吸困難感軽減のための教育の効果に関する検討-
O45-2	こまぎ きりな 駒崎 かな	戸田中央リハビリテ ーション病院 リハビリテーション科	作業療法士	食事場面での安定した座位獲得を目指して ～本人にとって意味のある作業が、食事動作に汎化した症例～
O45-3	いのうえ とうた 井上 登太	在宅支援有床診療所 み え呼吸嚥下リハビリクリ ニック	医師	嚥下障害患者における骨密度変化の特徴
O45-4	の だ たかこ 野田 貴子	紀南病院組合立紀南病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	エーラス・ダンロス症候群で嚥下障害を呈した症例

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第8会場 3F 303

9月16日(土) 13:00～14:00

46 訓練3

座長：飯泉 智子（北海道医療大学 リハビリテーション科学部・心理科学部 言語聴覚療法学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O46-1	かわばた たけよし 川畑 武義	リハビリあき訪問看護ステーション	言語聴覚士	舌背拳上訓練「ペコぱんだ体操」における運動強度の検討
O46-2	こし なおみ 古志 奈緒美	新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	言語聴覚士	舌口蓋押しつけ運動時の舌骨筋活動の特徴
O46-3	しろた たくや 代田 拓也	各務原リハビリテーション病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	頸椎症性脊髄症に合併した嚥下障害に対する嚥下訓練の経験 ～舌骨上下筋群へのアプローチに注力して～
O46-4	ふじい まりこ 藤井 まり子	わかくさ竜間リハビリテーション病院療法部	言語聴覚士	重度仮性球麻痺を呈した症例の咀嚼能力向上へのアプローチ
O46-5	ささむら かずひろ 笹村 和博	ナーシングホーム沙羅 リハビリテーション科	言語聴覚士	棒付き飴を用いた重度認知症高齢者に対する新規訓練法の開発
O46-6	しげかわ ゆか 重川 由香	西広島リハビリテーション病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	回復期リハビリテーション病棟における吹き戻しの効果の検討

9月16日(土) 14:00～14:50

47 訓練4

座長：辻村 恭憲（新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O47-1	ながお きょうじ 長尾 恭史	岡崎市民病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	急性期の重度嚥下障害患者に対し完全側臥位法は有効である
O47-2	いしむ おあや 伊志嶺 文	浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	一側嚥下が有効であった頸椎前方除圧固定術後の嚥下障害患者
O47-3	つかたに としあき 塚谷 才明	公立松任石川中央病院耳鼻咽喉科	医師	完全側臥位法の有用性と限界 － 100歳の症例から学んだ事－
O47-4	なかざわ はじめ 中澤 肇	旭川医科大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	バルーン拡張法の効果の相違 － 食道入口部通過障害の3症例－
O47-5	ほし たつや 星 達也	竹の塚脳神経リハビリテーション病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	長期的なバルーン拡張法によって流動的な嚥下から咽頭収縮を伴った嚥下を獲得したWallenberg症候群の一例

9月16日(土) 15:00～15:50

48 訓練5

座長：西脇 恵子（日本歯科大学附属病院 言語聴覚士室）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O48-1	おかもと けいし 岡本 圭史	浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	認知症を合併した摂食嚥下障害症例に対する直接訓練での食品選択について
O48-2	こみなえ あつし 小峰 淳	済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	舌骨モビライゼーションの効果：健常成人での検討
O48-3	いさわ こうき 伊澤 高輝	博愛記念病院リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下体操における口腔内湿潤効果
O48-4	くにえだ けんじろう 國枝 顕二郎	浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科	医師	食道内に陰圧を形成し咽頭通過を改善する嚥下法（バキューム嚥下）の健常者での検討
O48-5	かりやす まこと 莉安 誠	京都学園大学健康医療学部言語聴覚学科	言語聴覚士	鼻つまみ嚥下の仕組みの理解

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第9会場 1F 103

9月16日(土) 8:50～9:50

49 診断・評価6

座長：椎名 英貴（森之宮病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O49-1	みちわき ゆきひろ 道脇 幸博	武蔵野赤十字病院 特殊歯科・口腔外科	歯科医師	食物による窒息の型分類とメカニズムの検討 —Swallow Vision [®] による窒息のシミュレーション—
O49-2	こじま ちさ 小島 千沙	亀田総合病院	看護師 保健師	当院における窒息事故予防のためのスクリーニング
O49-3	すずき のりこ 鈴木 典子	在宅支援有床診療所みえ 呼吸嚥下リハビリクリニック	理学療法士	嚥下障害者における、誤嚥性肺炎、窒息、予後推測のための評価法i-EALDver4simple
O49-4	こだに ゆうへい 小谷 優平	社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院	言語聴覚士	回復期リハ病棟に経管栄養で入院となった脳卒中例の経口移行可否の予測 -基礎情報と認知機能評価での検討-
O49-5	おおつか かよこ 大塚 佳代子	大阪歯科大学大学院歯学 研究科 有歯補綴咬合学講座	言語聴覚士	嚥下障害患者における咬合支持の有無と身体機能、栄養状態、嚥下能力の関連
O49-6	まつもと じゅんこ 松本 潤子	札幌優翔館病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	顔貌で咀嚼嚥下能力を評価する試み 咀嚼嚥下能力向上目的の上半身ストレッチ～第3報～

9月16日(土) 9:50～10:50

50 診断・評価7

座長：舘村 卓（一般社団法人TOUCH/TOUCH-Solution合同会社）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O50-1	くわばら ゆき 桑原 有紀	群馬大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	医師	嚥下内視鏡検査（VE）におけるホワイトアウトの正常値の検討
O50-2	あおき ゆうすけ 青木 佑介	松阪中央総合病院 リハビリテーションセンター	作業療法士	嚥下造影検査 側面像での食道相の評価 —体幹傾斜角度が食道相に与える効果—
O50-3	やまとく まさと 山徳 雅人	聖マリアンナ医科大学 神経内科	医師	嚥下造影検査における低浸透圧性非イオン性ヨード系造影剤の安全性の検討
O50-4	おがわ まお 小川 真央	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学I 講座	医師	嚥下造影検査における液体コップ連続飲みの難易度
O50-5	おやま よしひと 小山 善仁	尾道市公立みつぎ総合病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	段階的とろみ濃度を付けた嚥下造影検査食における一考察
O50-6	わの ゆり 輪野 裕理	紀南病院組合立紀南病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下造影における造影剤加模擬食品の有用性についての検討

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第9会場 1F 103

9月16日(土) 10:50～11:50

51 診断・評価8

座長：巨島 文子（諏訪赤十字病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O51-1	いさか ともや 井坂 巴哉	SUBARU健康保険組合 太田記念病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	経口気管内挿管の期間が食事開始に与える影響について
O51-2	おかだ まみ 岡田 真実	済生会横浜市東部病院 集中治療センター ICU	看護師 保健師	ICUにおける抜管後の嚥下評価プロトコールの改訂による効果
O51-3	いけした ひろき 池下 博紀	佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター	言語聴覚士	当院ICUにおける人工呼吸器管理後の嚥下障害の経過について
O51-4	あらかき さとこ 新垣 智子	沖縄県立中部病院 歯科口腔外科	歯科衛生士	沖縄県立5病院における後期高齢入院患者の咬合状態と栄養摂取内容の報告
O51-5	おがわ たろう 小川 太郎	時計台記念病院 リハビリテーション科	医師	気管切開で回復期リハビリテーション病棟に入棟した症例の予後
O51-6	はまだ ようすけ 濱田 陽介	茨城県立医療大学付属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	頸椎前方固定術後の長期経過において嚥下障害が出現した頸髄損傷の一例

9月16日(土) 13:00～14:00

52 診断・評価9

座長：石田 瞭（東京歯科大学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O52-1	おおぬま こうじ 大沼 光司	昭和大学歯学部スペシヤルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門	歯科医師	嚥下前の発話を用いた聴覚的評価による嚥下障害の予測
O52-2	ふるかわ だいすけ 古川 大輔	君津中央病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	食道入口部通過時に発生する嚥下音の分析
O52-3	こざわ けいこ 小澤 恵子	滋賀県立大学 人間文化学部生活栄養学科	管理栄養士 栄養士	在宅における嚥下障害早期発見に向けて～頸部聴診音による評価指標の確立の検討～
O52-4	たじつ めぐみ 田實 仁	医療法人 仁慈会 太田歯科医院 訪問歯科診療センター	歯科医師	脳血管疾患・神経変性疾患を有す訪問診療患者に嚥下内視鏡を用い嚥下機能評価と食支援を行った376症例報告
O52-5	こうち まさと 幸地 真人	沖縄県立 南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科	歯科医師	身体的フレイル患者における口腔・嚥下機能の検討
O52-6	かねおか あさこ 兼岡 麻子	東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	内視鏡を用いた喉頭感覚検査：声帯内転反射の消失は嚥下障害患者における肺炎の予測因子である

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第9会場 1F 103

9月16日(土) 14:00 ~ 14:50

53 診断・評価10

座長：中尾 真理 (横浜市立脳卒中・神経脊椎センター リハビリテーション科/東北大学大学肢体不自由学分野 博士課程)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O53-1	瀬戸口 春香 せとぐち はるか	鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター	言語聴覚士	神経筋電気刺激装置 Ampcare ES TM の嚥下運動への生理学的効果：健常者での検討
O53-2	久多良木 茜 くたら きあかね	大分リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	健常者の口唇圧の検討 ～性別や年齢による差の有無について～
O53-3	児玉 将人 こだま まさと	大分リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	健常者における嚥下時の口唇圧について
O53-4	井上 登太 いのうえ とうた	在宅支援有床診療所 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	医師	誤嚥窒息時対処方法毎の呼気圧変化に基づく有効手法の推測
O53-5	松尾 信至 まつお しんじ	大阪歯科大学 有歯補綴咬合学科	歯科医師	咀嚼訓練用食品の咀嚼時における舌運動と顎運動の同時計測

9月16日(土) 15:00 ~ 15:40

54 精神疾患

座長：高橋 浩二 (昭和大学歯学部口腔リハビリテーション医学部門)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O54-1	瀬知 亜有未 せち あゆみ	愛媛大学附属病院医学部 耳鼻咽喉科	言語聴覚士	当科にて摂食嚥下リハビリテーションを行った統合失調症合併嚥下障害患者の臨床的検討
O54-2	井上 恭代 いのうえ たかよ	福井記念病院歯科	歯科医師	精神疾患をもつ入院患者における誤嚥性肺炎の要因
O54-3	井口 はるひ いのくち はるひ	東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科	医師	精神疾患患者における嚥下リハビリテーションの介入調査
O54-4	田島 みどり たしま みどり	医療法人ひいらぎ会	歯科衛生士	精神科と歯科のチーム医療による「摂食障害」患者への「摂食嚥下障害」に対応した一症例

一般演題 □演発表 9月16日(土) 第10会場 1F 104

9月16日(土) 8:50～9:50

55 神経・筋疾患1

座長：高橋 博達（浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O55-1	ほり しんすけ 堀 真輔	三重大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	摂食時の開口障害を呈したパーキンソン病患者の1例
O55-2	わたなべ かおる 渡邊 薫	岡山旭東病院 リハビリテーション課	言語聴覚士	誤嚥性肺炎後のパーキンソン病患者の経口摂取再獲得に関わる要因
O55-3	おおつ けんたろう 大津 健太郎	福岡大学病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	パーキンソン病進行に伴う舌圧と舌骨移動量の変化
O55-4	たいら けんきちろう 平 憲吉郎	山陰労災病院 耳鼻咽喉科	医師	Parkinson 病の重症度と嚥下圧の関連
O55-5	つちや ささな 土屋 笹奈	訪問看護ステーションす いぞくかん	言語聴覚士	重度の眼瞼攣縮と開眼失行を合併した嚥下障害の一例 流涎の軽減につながった症例
O55-6	わだ あやこ 和田 彩子	国立病院機構 東埼玉病院 リハビリテーション科	医師	多系統萎縮症患者における肺炎の既往と嚥下造影検査所見の関係

9月16日(土) 9:50～10:50

56 神経・筋疾患2

座長：吉田 光由（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 先端歯科補綴学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O56-1	みのだ けんた 蓑田 健太	熊本赤十字病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	重度嚥下障害が遷延した皮膚筋炎の1例
O56-2	こんどう まなみ 近藤 真波	愛知県厚生連足助病院	言語聴覚士	バルーンカテーテル訓練法により嚥下障害が改善した皮膚筋炎の一例
O56-3	おきた ひろかず 沖田 浩一	金沢大学附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	皮膚筋炎・多発性筋炎に現れる嚥下障害の臨床経過
O56-4	いらは ゆうま 伊良波 優馬	倉敷中央病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	皮膚筋炎により重度嚥下障害を呈したが常食摂取に至った症例 —バルーン法と頸部回旋が奏効した一例—
O56-5	やまぎき ゆか 山崎 由香	公立陶生病院 中央リハビリテーション部 言語訓練室	言語聴覚士	四肢の筋力と相関しない嚥下障害に対するリハビリテーションにて、経口摂取が再開できた2例
O56-6	はら だいすけ 原 大介	名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下機能改善術が有効であった封入体筋炎の1症例

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第10会場 1F 104

9月16日(土) 10:50～11:50

57 神経・筋疾患3

座長：三石 敬之 (社会医療法人緑泉会 米盛病院 リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O57-1	和田 義敬 わだ よしたか	昭和大学医学部 リハビリテーション医学 講座	医師	嚥下障害を有する重症 Guillain-Barre syndrome の経口摂取回復まで：症例報告
O57-2	豊島 義哉 とよしま よしや	国立病院機構東名古屋病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	8ヶ月間人工呼吸器を装着したギランバレー症候群患者が常食経口摂取となるが依然舌機能が低下している1例
O57-3	山田 祐歌 やまだ めか	独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院	医師	Duchenne型筋ジストロフィー患者における摂食嚥下状況の6年間の経年変化
O57-4	平野 愛 ひらの あい	仙台西多賀病院 神経内科	医師	Duchenne型筋ジストロフィー患者の嚥下機能評価
O57-5	藤田 有香 ふじた ゆか	国際医療福祉大学病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	ALS患者における誤嚥防止術後のST支援方法の検討
O57-6	高木 大輔 たかぎ だいすけ	聖隷三方原病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	ANCA関連血管炎による舌咽迷走神経麻痺から重度嚥下障害を呈した1例

9月16日(土) 13:00～14:00

58 小児1

座長：水上 美樹 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O58-1	倉本 尚美 くらもと なおみ	筑波大学グローバル教育院 エンパワーメント情報学 プログラム	学生 大学院生	特別支援学校における食事指導の実態調査
O58-2	篠原 麻里絵 しのはら まりえ	北九州市立泉台小学校	管理栄養士 栄養士	特別支援学校における知的障害児への摂食指導 — 開校1年目の取組 —
O58-3	渡會 勲 わたらい いさお	東京都立志村学園	管理栄養士 栄養士	学校給食から考える小児嚥下調整食
O58-4	渥美 聡 あつみ そう	東京都立府中療育センター 小児科	医師	障害児者の摂食嚥下障害の対応について～遅れがちになる原因と対応についての検討
O58-5	阿部 仁子 あべ きみこ	日本大学歯学部摂食機療法 学講座	歯科医師	環境因子による摂食嚥下機能の発達遅滞が疑われた8歳女児の一例
O58-6	溝口 陽子 みぞぐち ようこ	大阪発達総合療育センター	言語聴覚士	哺乳瓶ミルク依存症の摂食嚥下リハビリテーション-7歳脳性麻痺男児の一例-

一般演題 口演発表 9月16日(土) 第10会場 1F 104

9月16日(土) 14:00～15:10

59 小児2

座長：鈴木 康司 (緑成会成育園 耳鼻咽喉科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
059-1	いけがみ としゆき 池上 敏幸	菊野病院	言語聴覚士	低出生体重児への離乳食の導入時期の検討：粗大運動と口腔機能に着目して
059-2	てらしま さつき 寺島 さつき	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	当院における哺乳評価フローチャート作成の試み
059-3	かどの いずみ 門野 泉	名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科	医師	先天性頸部巨大リンパ管腫に対し嚥下訓練を行った3例
059-4	なかじま たかひろ 中嶋 崇博	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	早期ST介入により嚥下能力拡大に至ったコルネリア・デ・ランゲ症候群の一症例
059-5	ふるくほりょう 古久保 良	紀南病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	普通食まで経口摂取可能となった先天性気管狭窄症の1例
059-6	あべ もとこ 阿部 素子	国立病院機構大牟田病院	看護師 保健師	重症心身障害児・者の側彎症の有無による誤嚥性肺炎との関連について
059-7	やまもと ひろこ 山本 弘子	都立府中療育センター 訓練科	言語聴覚士	障害児者における反芻の様相

一般演題 ポスター発表1 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日 (金) 13:40 ~ 14:40

1 基礎1

座長：鈴木 英二 (さいたま記念病院 リハビリ科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P1-1	くどう しんや 工藤 慎也	東苗穂病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	当院回復期リハビリテーション病棟における経口摂取へ移行出来た患者の特徴について
P1-2	ひがしたに なつき 東谷 那月	社会医療法人 三和会 永山病院	言語聴覚士	当院における、入院前の食形態に戻る患者の傾向
P1-3	にしむら ゆか 西村 友花	竹の塚脳神経リハビリ テーション病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	気管切開術後経管栄養患者の退院時経口摂取可否の傾向と関連要因の検討
P1-4	たしろ りょうこ 太城 良子	浜松市リハビリテーショ ン病院	医師	回復期病棟での非脳卒中患者の嚥下障害について
P1-5	にししたに はるひこ 西谷 春彦	川崎医科大学 リハビリテーション科	医師	SMON患者の嚥下機能の経年変化
P1-6	おおたけ あやか 大竹 綾香	刈谷豊田総合病院東分院 リハビリテーション科	言語聴覚士	療養病床において経口摂取維持のため再介入をした血液透析患者の特徴
P1-7	かみさく ひとみ 神作 一実	文京学院大学大学院保 健医療科学研究科	作業療法士	健常成人における一口量と捕食の関連
P1-8	すずき えいじ 鈴木 英二	さいたま記念病院 リハビリテーション科	医師	重度嚥下障害患者に対しゼリーととろみ液をどう使いわけるか？物性評価から

9月15日 (金) 13:40 ~ 14:40

3 基礎3

座長：阿部 仁子 (日本大学歯学部 摂食機能療法学講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P3-1	たけうち ゆり 竹内 由里	松本歯科大学病院	管理栄養士 栄養士	嚥む、舌でつぶす、飲むの摂食行為は脳神経活動の活性化をもたらすか
P3-2	げんだ じゅんじ 源田 亮二	金沢大学附属病院リハビ リテーション部	言語聴覚士	模擬錠剤内服時の主観的評価と客観的評価の関連について
P3-3	よしはら みどり 吉原 翠	新潟大学大学院医歯学総 合研究科摂食嚥下リハビ リテーション学分野	学生 大学院生	麻酔下ラットにおける喉頭持続刺激がもたらす嚥下誘発の変調
P3-4	ふくい たかひろ 福井 陽裕	介護老人保健施設 ハート ケア横浜小雀	作業療法士	高齢者における体幹角度と頭頸部位置の違いが舌骨上筋群筋活動に及ぼす影響
P3-5	いしくろ ひろや 石黒 博弥	みえ呼吸嚥下リハビリク リニック	理学療法士	リクライニング式車椅子を使用した体幹角度の変化による咳嗽力への影響
P3-6	さかぐち たかのり 坂口 貴則	みえ呼吸嚥下リハビリク リニック	理学療法士	頭部角度の違いにより呼吸力にどのような影響を及ぼすのか
P3-7	きのした ほうき 木下 雄貴	みえ呼吸嚥下リハビリク リニック	理学療法士	座位における上肢の位置による誤嚥物喀出力の変化

一般演題 ポスター発表1 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日 (金) 13:40 ~ 14:40

7 診断・評価1

座長：大竹 弘哲 (前橋赤十字病院リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P7-1	すが まな 菅 真那	医療法人敬愛会リハビリ テーション天草病院	言語聴覚士	経鼻経管で入院した脳卒中患者における経口摂 取に及ぼす要因の検討 -KTバランスチャートを用いて-
P7-2	ちば のりこ 千葉 典子	りんくう 総合医療セン ター リハビリテーション科	言語聴覚士	当院における嚥下評価 ～KTバランスチャートを基準とした検討～
P7-3	きよみや ゆうと 清宮 悠人	聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	当院における嚥下機能評価の実際と経口摂取へ の取り組み
P7-4	しよき ひろみ 渋木 瞳	新潟大学大学院歯学総 合研究科 口腔生命福祉学専攻	歯科衛生士	歩行機能が低下したフレイル患者における口腔 嚥下機能評価
P7-5	たかやなぎ あつし 高柳 篤史	高柳歯科医院	歯科医師	一般成人の反復唾液嚥下テスト (RSST) 記録 のレトロスペクティブ研究による嚥下機能低下 のリスク要因
P7-6	おおひら りえ 大平 梨栄	誠愛リハビリテーション病 院 リハビリテーション部	言語聴覚士	咀嚼評価表を用いた常食摂取者とソフト食摂取 者を分ける要因の検討

9月15日 (金) 13:40 ~ 14:40

9 診断・評価3

座長：寺中 智 (足利赤十字病院 リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P9-1	さとう まさとし 佐藤 雅俊	室蘭太平洋病院	言語聴覚士	慢性期療養病院における、誤嚥性肺炎の実態に ついて～入院時画像所見や、生理・生化学デー タ等の解析
P9-2	かきたに めぐみ 笠谷 めぐみ	斜里町国民健康保険病院	管理栄養士 栄養士	多角的定期評価に基づいた重度嚥下障害患者へ のアプローチ
P9-3	やまうち じゅん 山内 淳	青森県立中央病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	当院の大腿骨頸部／転子部骨折における摂食嚥 下機能及び栄養状態と転帰について
P9-4	ひらつか まさお 平塚 正雄	福岡リハビリテーション 病院 歯科	歯科医師	経管栄養患者におけるNGチューブのループ形 成症例に関する調査
P9-5	さかい まりこ 坂井 麻里子	大阪府済生会茨木病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	頸椎装具が嚥下機能に影響を及ぼした環椎骨折 の1例
P9-6	さとう ゆきひろ 佐藤 幸浩	かみいち総合病院NST	医師	亜急性に悪化した嚥下障害のため嚥下外来に紹 介となった2症例
P9-7	たかた あゆみ 高田 あゆみ	富山協立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	経口摂取を希望の意思を尊重して-サルコペニ ア嚥下障害の一例-
P9-8	ふじた ゆうこ 藤田 侑子	市立長浜病院リハビリ テーション技術科	言語聴覚士	非脳卒中嚥下障害患者における予後予測因子の 検討

一般演題 ポスター発表1 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日(金) 13:40～14:40

15 口腔ケア1

座長：芳賀 定 (芳賀デンタルクリニック湘南)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P15-1	由良 晋也	市立砺波総合病院 歯科口腔外科	歯科医師	市立砺波総合病院で開催した口腔ケアフォーラム参加者に対するアンケート調査
P15-2	望月 智子	富士宮市立病院看護部	看護師 保健師	ROAG評価を活用した口腔ケアプロトコルの有用性の検討
P15-3	路川 環	昭和大学病院看護部	看護師 保健師	オーラルケアアセスメントシート・ケアプロトコルの作成と評価
P15-4	齋藤 真由	東京都保健医療公社 荏原病院 歯科口腔外科	歯科医師	摂食嚥下機能判定用口腔ケアチャートの作成とその有用性
P15-5	小山内 恵理子	葛西中央病院	管理栄養士 栄養士	当院における口腔ケアに対する取り組み
P15-6	横田 裕子	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	看護師 保健師	口腔ケアに介助を要する患者の口腔内汚染の改善に向けた取り組み
P15-7	守谷 恵未	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター先端診療部 歯科口腔外科	歯科衛生士	口腔ケア時の誤嚥予防の試み —口腔ケア用ジェルの新規開発 除去性の評価—
P15-8	梶原 美恵子	北九州古賀病院	歯科衛生士	口腔ケア用ジェルと吸引嚥管を使用した専門的口腔ケアによる口腔細菌数の変化：第3報口腔衛生不良者の変化
P15-9	尾花 三千代	東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野	歯科衛生士	口腔の湿润方法に着目した口腔ケアシミュレーション研究
P15-10	高野 梨沙	明海大学歯学部社会健康科学講座 口腔衛生学分野	歯科医師	患者体位の違いによる口腔内吸引量の変化

9月15日(金) 13:40～14:40

22 地域リハ・在宅1

座長：種村 達哉 (伊勢崎福島病院歯科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P22-1	和久 沙奈江	ソフィア訪問看護ステーション元住吉	言語聴覚士	哺乳障害を呈する低出生体重児への訪問リハビリテーションの経験
P22-2	米田 由公子	みんなの訪問看護リハビリステーション	言語聴覚士	多職種連携により1食経口摂取が可能になった症例のその後—STとしての関わり—
P22-3	井上 統温	医療法人社団 幹人会 菜の花クリニック 歯科	歯科医師	地域医療圏で舌癌術後患者に対し、病院リハビリ科と一般歯科診療所との連携を行った一例
P22-4	小田 美由紀	ユリデンタルクリニック	歯科衛生士	嚥下反射パターンが消失した脳梗塞後遺症患者の経口摂取可能となった一例 ～訪問歯科衛生士介入の経過報告～
P22-5	麻植 有希子	ワタミ株式会社健康長寿科学栄養研究所	管理栄養士 栄養士	ミキサー食の胃瘻投与で全身状態が改善し嚥下機能改善につながった在宅連携例
P22-6	奥田 理芳	藤井歯科	歯科衛生士	生活期において経口摂取を取り戻した一症例 ～チェーンストークス呼吸を呈する患者へのアプローチ～
P22-7	熊田 芳江	きらり健康生活協同組合 訪問看護ステーションしみず	言語聴覚士	食道癌術後のサルコペニアにより食道入口部開大不全を呈すも通院リハビリにより経口摂取が可能となった症例
P22-8	柳澤 優希	富山協立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	サルコペニアからの脱却は地域から始まる—経口摂取する機会を再考した一例について—
P22-9	鈴木 里美	きらり健康生活協同組合 上松川診療所	言語聴覚士	嚥下障害高齢者を在宅で支えるために必要なこと

一般演題 ポスター発表1 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日(金) 13:40～14:40

24 地域リハ・在宅3

座長：加藤 友久 (加藤歯科医院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P24-1	木村 将典	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	医科病院別の摂食嚥下リハビリテーション介入の意義
P24-2	藤井 航	九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター	歯科医師	本学における口腔保健・健康長寿推進センターの開設
P24-3	伊藤 加代子	新潟大学歯学部総合病院口腔リハビリテーション科	歯科医師	「食の支援ステーション」におけるニーズに関する質問調査
P24-4	井出 浩希	医療法人三継会摂食嚥下部門	理学療法士	施設への訪問歯科診療における嚥下内視鏡検査の役割
P24-5	遠藤 克哉	会津中央病院歯科口腔医療センター口腔機能管理部門	歯科医師	地域中核病院関連施設における訪問歯科介入の有用性
P24-6	小田 海	新戸塚病院リハビリテーション科	言語聴覚士	在宅療養の嚥下障害症例に対する地域医科歯科連携と訪問STの効果
P24-7	安藤 麻里子	東京医科歯科大学大学院歯学部総合研究科高齢者歯科学分野	歯科医師	在宅嚥下障害患者に対して多職種連携により食べる楽しみを取り戻した一症例
P24-8	亀谷 浩史	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	言語聴覚士	在宅で経口摂取の再獲得を叶える栄養管理と完全側臥位法
P24-9	中久木 康一	東京医科歯科大学大学院歯学部総合研究科顎顔面外科学分野	歯科医師	災害時の歯科支援における連携の現状とあり方 - 多職種での「食べる支援」に向けて -

9月15日(金) 13:40～14:40

29 高齢者2

座長：黒住 千春 (川崎医療福祉大学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P29-1	木村 敦	日本大学危機管理学部危機管理学科	大学専門学校等教員	認知症高齢者の摂食嚥下支援に関わる心理学的アプローチの整理
P29-2	宇佐美 康子	名古屋第二赤十字病院患者支援センター 地域包括ケア支援室	看護師 保健師	急性期病院におけるミールラウンドの取り組みについて～第2報～ ミールラウンド活動による効果の検討
P29-3	奥村 秀則	国立病院機構名古屋病院歯科口腔外科	歯科医師	高齢入院患者の口腔機能と栄養摂取、日常生活活動との関連
P29-4	柿澤 良江	岩手医科大学附属病院神経内科・老年科	看護師 保健師	高齢入院患者における栄養状態とFIMからみた転倒転落との関連性
P29-5	大和田 恵美	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 看護部	看護師 保健師	回復期リハビリテーション病棟での疾患による口腔機能の比較
P29-6	田中 春奈	東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科	言語聴覚士	脳血管障害急性期に嚥下障害を呈する高齢者の実態
P29-7	中山 潤利	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	食事中に窒息経験のある要介護高齢者の特徴
P29-8	中臺 くるみ	総合病院一心病院リハビリテーション科	歯科衛生士	高齢の嚥下障害患者における適切な食形態と舌圧についての検討
P29-9	神山 佐奈美	ワタミ株式会社健康長寿科学栄養研究所	管理栄養士 栄養士	パン食習慣のある嚥下障害高齢者への高カロリーパン粥で実施した栄養管理

一般演題 ポスター発表1 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日(金) 13:40～14:40

31 多職種連携1

座長：内田 淳 (埼玉県立嵐山郷)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P31-1	あまがい ゆうき 天海 優希	足利赤十字病院 リハビリテーション科	歯科衛生士	急性期から回復期を経て自宅退院した脳梗塞患者に対して歯科衛生士が多職種と共に継続して介入した1症例
P31-2	やまだ はるき 山田 治希	医療法人慈誠会 山根病院 三隅分院 看護部	看護師 保健師	脳出血発症後の意欲低下を有する患者への多職種アプローチ ～現状と今後の課題～
P31-3	はやし まり 林 真梨	済生会松阪総合病院	看護師 保健師	重症くも膜下出血患者の嚥下障害への関わり ～多職種連携の重要性について～
P31-4	まつみや はるひこ 松宮 春彦	ちとせデンタルクリニック 訪問診療部	歯科医師	多職種協働での在宅高齢者医療により、経口摂取の維持・食形態レベルの改善をみた一例
P31-5	まつおか きよたか 松岡 聖剛	マツダ(株) マツダ病院 看護部	看護師 保健師	進行性核上性麻痺による嚥下障害に対して嚥下リハビリテーションを行い、完全経口栄養に至った1症例
P31-6	かわい こういち 河合 宏一	藤聖会 八尾総合病院 歯科口腔外科	歯科医師	誤嚥症例の老健施設・病院・歯科の連携 ＜舌機能の改善を認めた一例＞
P31-7	いしかわ まりこ 石川 万里子	昭和大学 歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門	歯科医師	多職種連携により制限されているもののお楽しみの経口摂取が継続している重度パーキンソン病誤嚥患者の1例
P31-8	なかもり れいこ 中森 玲子	津生協病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	完全側臥位法により完全経口摂取移行となり、在宅復帰した1症例 ～関係諸施設との情報共有の重要性について
P31-9	かとう あつこ 加藤 敦子	足利赤十字病院 看護部	看護師 保健師	患者家族の希望を尊重し多職種連携で3食経口摂取へ移行できた症例
P31-10	よしむら なおみ 芳村 直美	社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 摂食嚥下療法科	看護師 保健師	地域包括ケアシステムで多職種・他施設連携により経口摂取が実現できた一症例

一般演題 ポスター発表1 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日 (金) 13:40 ~ 14:40

35 脳血管障害

座長：佐野 昌子 (社会医療法人孝仁会 星が浦病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P35-1	いあもと けいこ 岩本 圭子	足利赤十字病院 リハビリテーション科	作業療法士	脳卒中片麻痺患者における歯磨き後の磨き残しの検討 (第1報) - 麻痺側や歯磨きの時間の影響について -
P35-2	ほりこし えつよ 堀越 悦代	足利赤十字病院 リハビリテーション科	歯科衛生士	脳卒中片麻痺患者における歯磨き後の磨き残しについて (第2報) - 歯科衛生士による指導効果 -
P35-3	たしろ ゆうこ 田代 優子	永富脳神経外科病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	脳卒中後の摂食嚥下障害に対する集中的取り組み - 言語聴覚士と歯科衛生士との協働
P35-4	くぼ ゆか穂 久保 ゆか穂	日本大学歯学部付属歯科 病院摂食機能療法科	歯科医師	急性期脳卒中患者に対する当科とSTが連携した摂食機能療法の取り組み
P35-5	よしだ さおり 吉田 早織	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科高齢者 歯科学分野	歯科医師	絶食期間が脳卒中患者の口腔周囲筋厚に及ぼす影響の検討
P35-6	いしかわ とよあき 石川 豊章	介護老人保健施設 せんだんの丘	言語聴覚士	脳出血後の摂食嚥下障害に内服調整や意欲への働きかけにより食事が安定した一症例
P35-7	あべ たかや 阿部 高家	リハビリテーション天草病 院リハビリテーション部	理学療法士	車椅子シーティングにより摂食動作時間の短縮と摂食動作パターンの改善が得られた脳血管障害患者の一例
P35-8	おかむら さわこ 岡村 佐和子	兵庫県立リハビリテー ション西播磨病院言語聴 覚療法科	言語聴覚士	意識障害が遷延し、全身的な随意性が低下した症例の摂食嚥下機能改善経過
P35-9	おかだ しょういち 岡田 彰一	おかたに病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	口腔周囲に意図性と自動性の乖離を認め、訓練に難渋した被殻出血の一症例
P35-10	やました あいこ 山下 愛子	宗像水光会総合病院	言語聴覚士	嚥下失行が疑われ、3食食事摂取可能となった症例 - 歯ざわりのよい食物を用いて -

9月15日 (金) 13:40 ~ 14:40

37 神経・筋疾患2

座長：塚田 徹 (竹田総合病院 リハビリテーション部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P37-1	いたや ききこ 板谷 早希子	JAとりで総合医療セン ター神経内科	医師	「5分食べ5分休むルール」により胃瘻造設後3年間経口摂取を維持できた多系統萎縮症(MSA-C)の66歳男性例
P37-2	すずき みな 鈴木 弥奈	竹の塚脳神経リハビリ テーション病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	回復期病院におけるParkinson病を合併した経鼻経管栄養患者の病態と転帰
P37-3	もりしげ ゆかり 森重 ゆかり	兵庫県立リハビリテー ション西播磨病院 看護部	看護師 保健師	パーキンソン病の入院リハビリによる体成分の変化 (流涎評価とリハビリ栄養介入の可能性)
P37-4	やまもと あきひこ 山本 晃彦	富山県済生会富山病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	遺伝性脊髄小脳変性症 (DRPLA 遺伝子陽性)の嚥下障害の一例
P37-5	べっしょ めぐみ 別所 恵美	石川県立中央病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	開口障害と嚥下障害を呈した破傷風患者への言語聴覚療法
P37-6	すぎうら みき 杉浦 美樹	名古屋第二赤十字病院 看護部	看護師 保健師	破傷風による嚥下障害を呈した患者についての一考察
P37-7	かげやま よういちろう 景山 洋一郎	出雲市民リハビリテー ション病院 リハビリテーション室	言語聴覚士	水痘帯状疱疹ウイルス (VZV) による多発性神経炎により重度嚥下障害を呈した一症例
P37-8	なচারিよ 中地 亮	沖縄病院神経内科	医師	神経内科病棟における嚥下内視鏡検査の導入

一般演題 ポスター発表2 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日 (金) 15:00 ~ 16:00

4 訓練1

座長：柴田 斉子 (藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P4-1	たかき ひなこ 高木 雛子	熊本保健科学大学 理学療法学専攻	学生 大学院生	喉頭周囲の徒手操作が嚥下機能に及ぼす影響 - 1: RSSTなどによる検討 -
P4-2	やまもと りょうた 山本 亮太	熊本保健科学大学 理学療法学専攻	学生 大学院生	喉頭周囲の徒手操作が嚥下機能に及ぼす影響 - 2: 操作の有無による検討 -
P4-3	よしおか みさき 吉岡 美咲	熊本保健科学大学 理学療法学専攻	学生 大学院生	喉頭周囲の徒手操作が嚥下機能に及ぼす影響 - 3: 操作方法による検討 -
P4-4	かんざき はやと 神崎 隼人	熊本保健科学大学 理学療法学専攻	学生 大学院生	喉頭周囲の徒手操作が嚥下機能に及ぼす影響 - 4: 喉頭可動性スケール (K-scale) による評価の試み -
P4-5	おぐら けいこ 小倉 恵子	大田病院	看護師 保健師	食道入口部開大不全に対するバルーン訓練法導入経験 (第一報) - 多職種連携構築の試み
P4-6	かねまる あきこ 金丸 亜希子	大田病院	言語聴覚士	食道入口部開大不全に対するバルーン訓練法導入経験 (第二報) - 四症例を振り返って
P4-7	なかがわ かずはる 中川 量晴	藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科	歯科医師	在宅療養中の重度嚥下障害者に対する頸部干渉波刺激が嚥下機能に及ぼす効果の検討
P4-8	おおぐら だいすけ 大黒 大輔	大阪急性期・総合医療センター	言語聴覚士	口腔癌術後患者に対する、リクライニング0度仰臥位、調味料ボトルを用いた直接訓練の効果

9月15日 (金) 15:00 ~ 16:00

6 訓練3

座長：中村 智之 (足利赤十字病院 リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P6-1	きしもと とみこ 岸本 都美子	医療法人 竹村医院 訪問 看護ステーションエンゼル	看護師 保健師	放射線治療後の嚥下機能障害に対する摂食訓練の関わり ~病院との連携で嚥下機能が改善した症例~
P6-2	やはら なおこ 矢原 直子	PL病院リハビリテーション科	言語聴覚士	超高齢で誤嚥性肺炎患者に対し、ST介入し咀嚼訓練を強化し嚥下機能が改善した症例について
P6-3	かとう けんいち 加藤 賢一	丸の内病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下訓練により喉頭の位置が上昇し、嚥下機能の改善が認められた一症例
P6-4	まつざわ のりこ 松澤 哲子	宇治徳洲会病院 歯科口腔外科	歯科医師	舌安静位を考慮した訓練により嚥下機能改善に至った一例
P6-5	なかしま ゆかこ 中島 由香子	特定医療法人誠仁会 大久保病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	頭部屈曲位により咽頭残留の減少を認めた症例
P6-6	わたなべ まなみ 渡辺 愛未	松村総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	意識障害を呈した症例に対しての特異的アプローチの模索
P6-7	やまもと えつこ 山本 悦子	埼玉医科大学病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	成人 still 病により嚥下障害を呈した1例
P6-8	なかまた なつみ 仲俣 菜都美	埼玉医科大学病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	喉頭気管分離術を施行した蘇生後脳症の1症例
P6-9	いよた なおき 伊与田 尚輝	医療法人賀新会玉島第一 病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	廃用症候群となり同時期に進行性核上性麻痺を発症し経口摂取に至らなかった症例

一般演題 ポスター発表2 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日 (金) 15:00 ~ 16:00

11 治療

座長：大賀 優 (東京都立大塚病院 脳神経外科/リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P11-1	たかく ともえ 高久 朋枝	佐野厚生総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	小脳橋角部髄膜腫術後に重度嚥下障害を呈し、喉頭挙上術と術前後リハビリテーションで経口摂取に至った1例
P11-2	もりかわ じゅん 森川 淳	佐野厚生総合病院 耳鼻咽喉科	医師	低侵襲な嚥下機能改善手術を段階的に行い経口摂取に至った一例
P11-3	まつおか あつこ 松岡 敦子	西山脳神経外科病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下障害に対する反復経頭蓋磁気刺激治療 - Wallenberg症候群に対する両側照射の試み -
P11-4	ぬまぐち ざとし 沼口 哲士	総和中央病院 リハビリ テーションセンター	言語聴覚士	嚥下障害者に対する神経筋刺激治療の有用性
P11-5	いいた たかとし 飯田 貴俊	神奈川歯科大学大学院歯 学研究科全身管理医歯学 講座全身管理高齢者歯科 学分野	歯科医師	栄養状態改善と誤嚥物喀出の習慣化によって食物誤嚥があったにも関わらず経口摂取が維持できた症例
P11-6	こうとう たくろう 後藤 拓朗	三豊総合病院企業団 歯科保健センター	歯科医師	唾液誤嚥患者に対するスコボラミン軟膏使用経験
P11-7	おおが まさる 大賀 優	東京都立大塚病院 リハビリテーション科/ 脳神経外科	医師	集学的治療により発症7ヶ月後に完全経口栄養摂取に至った脳腫瘍術後嚥下障害の一例
P11-8	さとう あきひこ 佐藤 暁彦	クオール株式会社 クオール薬局南沢又店	薬剤師	嚥下障害患者の粉碎法を回避し服薬状況を改善した事例

9月15日 (金) 15:00 ~ 16:00

13 看護1

座長：今田 智美 (京都第一赤十字病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P13-1	みやざき ともえ 宮崎 友恵	北里大学病院 看護部	看護師 保健師	摂食嚥下サポートチーム回診患者の現状と課題
P13-2	いしくら あい 石倉 愛	北里大学病院 看護部	看護師 保健師	摂食嚥下障害看護認定看護師ラウンドによる病棟の現状と課題
P13-3	はるもと やすみ 春元 康美	NHO 広島西医療センター リハビリテーション科	言語聴覚士	当院における摂食・嚥下障害看護の実際
P13-4	すがや ようこ 菅谷 陽子	茨城県立医療大学付属病 院 看護部	看護師 保健師	摂食嚥下障害に関する当院の看護師への意識調査～現状と課題～
P13-5	ちばな くみ 知花 久美	豊見城中央病院	看護師 保健師	病棟看護師における摂食嚥下ケア定着への取り組み
P13-6	おおした めぐみ 大下 恵	岩手県立千厩病院看護科	看護師 保健師	摂食嚥下外来開設に向けた取り組みの活動報告
P13-7	おぞわ きみひと 小澤 公人	小田原市立病院看護部	看護師 保健師	摂食嚥下障害患者に対する食事介助時における看護師の着眼点の分析
P13-8	いけだ しのぶ 池田 しのぶ	大阪市民病院機構 大阪市 立総合医療センター	看護師 保健師	摂食嚥下障害看護認定看護師の活動と成果～看護師教育と摂食機能療法開始にむけて～
P13-9	まつざわ ゆう 松澤 優	中村記念南病院	看護師 保健師	当院における摂食嚥下障害看護の卒後教育について～リンクナースの育成とその結果～

一般演題 ポスター発表2 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日(金) 15:00～16:00

18 食事・栄養2

座長：藤井 航（九州歯科大学 老年障害者歯科学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P18-1	やまごき やすゆき 山崎 康之	茨城県立医療大学付属病院 リハビリテーション部 言語療法・臨床心理科	言語聴覚士	当院における嚥下障害患者に対する提供食の実態調査
P18-2	ふるた いっぺい 古田 一平	JA愛知厚生連稲沢厚生病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	摂食嚥下障害に関する栄養指導の実態と課題
P18-3	つかだ きゆみ 塚田 紗弓	名古屋掖済会病院	看護師 保健師	多職種連携による食事形態の課題 ～地域施設アンケートからみえたこと～
P18-4	さがわ けいいちろう 佐川 敬一郎	日本歯科大学口腔リハビリ テーション多摩クリニック	歯科医師	地域における食の情報共有を目的とした食支援 ホームページの作成と利用状況に関する報告
P18-5	はらぐち めぐみ 原口 愛	株式会社LEOC	管理栄養士 栄養士	メニューの充実化による摂取量増加への取り組み
P18-6	とどろき みき 轟木 美佐	江南病院栄養科	管理栄養士 栄養士	「モバイル食」を利用することによって可能 になった当院での嚥下食への取り組み
P18-7	くろだ あきこ 黒田 明子	佐賀関病院	医師	短期間提供する「咀嚼支援食」を導入した成果
P18-8	まきの まさみ 前野 雅美	医療法人健康会 介護老人 保健施設ぬくもりの里	管理栄養士 栄養士	テクスチャー測定に基づく鶏肉を用いた軟菜食 の改良と介護老人保健施設における摂取率調査
P18-9	あらい たけし 荒井 健	介護老人保健施設 葵の園・常総	管理栄養士 栄養士	咀嚼嚥下機能低下者への栄養調整食品提供による 身体状況の改善

9月15日(金) 15:00～16:00

19 食事・栄養3

座長：高橋 智子（神奈川工科大学 応用バイオ科学部栄養生命科学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P19-1	いしぐろ しんいち 石黒 慎一	JA神奈川厚生連伊勢原協 同病院内科	看護師 保健師	重症くも膜下出血患者へKTBCを用いたアプ ローチによりPEG回避できた1症例(1) ～食事介助法を中心に～
P19-2	さとう ききこ 佐藤 作喜子	神奈川厚生連伊勢原協同 病院 栄養室	管理栄養士 栄養士	重症くも膜下出血患者へKTBCを用いたアプ ローチによりPEG回避できた1症例(2) ～食物形態・栄養を中心に～
P19-3	まつもと みつしげ 松本 満茂	NPO法人歯科医療情報推 進機構	歯科医師	「食べる。できたら自分で食べる。」という一連 の動作を完成させるための多職種連携
P19-4	ふくむら ひろこ 福村 弘子	社会医療法人健和会 健和 会病院 摂食嚥下障害看 護認定看護師	看護師 保健師	離水を抑えたゼリーにより必要栄養量摂取可能 となった偽性球麻痺の一例
P19-5	なかむら はるこ 中村 晴子	日立製作所 多賀総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	胃ろうから経口自立した例と経鼻栄養から経口 自立した例の違いについて
P19-6	いわさき まみこ 岩崎 満美子	埼玉県社会福祉事業団 嵐山郷	介護・福祉 専門職	『誤嚥性肺炎をくり返した重症心身障害者への 食事支援』
P19-7	たかば みゆき 鷹羽 みゆき	名古屋キリスト教社会館 障害者活動センターねー ぶる	管理栄養士 栄養士	重症心身障害者の「食べる」を豊かにする取り 組み

一般演題 ポスター発表2 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日(金) 15:00～16:00

26 療育指導

座長：豊島 義哉 (国立病院機構東名古屋病院 リハビリテーション部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P26-1	ばく まうじや 朴 麻優子	ことばと発達うさぎ	言語聴覚士	母子健康手帳を活用した親子支援について (1) ～肢体不自由母子通園での試み～
P26-2	ばく まうじや 朴 麻優子	ことばと発達うさぎ	言語聴覚士	母子健康手帳を活用した親子支援について (2) ～肢体不自由母子通園での試み～
P26-3	かわもと まゆみ 川元 真由美	鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科	言語聴覚士	栄養教育と今後の課題
P26-4	かめい みちこ 亀井 倫子	三鷹の嚙下と栄養を考える会	歯科医師	「kaigo スナック」の活動を通じた嚙下食の普及について (第2報)
P26-5	なかじま りか 中嶋 理香	名古屋芸術大学 人間発達学部	言語聴覚士	愛知県の特別支援学校小学部における摂食嚙下に対する取り組みについての調査
P26-6	みながわ えつこ 皆川 悦子	北海道真駒内養護学校	言語聴覚士	北海道立特別支援学校の給食指導について
P26-7	いのまた えり 猪俣 英理	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座	歯科医師	特別支援学校における栄養教諭に関する実態調査
P26-8	かむら ゆきえ 上村 由貴恵	滋賀県立小児保健医療センター療育部	管理栄養士 栄養士	言語聴覚士と管理栄養士が協働で取り組む摂食嚙下および栄養・調理指導
P26-9	にっ た けいだい 仁田 慶大	東京都立多摩療育園	管理栄養士 栄養士	療育通園保育における「評価食」の導入とその効果
P26-10	くらもと あつお 倉本 敦夫	東京都立北療育医療センター 薬剤検査科	薬剤師	服薬困難者の服薬補助方法の選択と指導について

9月15日(金) 15:00～16:00

33 多職種連携3

座長：千木良 あき子 (千木良デンタルクリニック)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P33-1	いはら たけし 伊原 武志	長岡赤十字病院	言語聴覚士	地域における多職種連携 —歯科医師、歯科衛生士との連携—
P33-2	まえだ みき 前田 美紀	公立能登総合病院栄養部	管理栄養士 栄養士	病院から地域につなげる食形態連携の活動について
P33-3	うちこし ともこ 打越 ともこ	市立千歳市民病院	看護師 保健師	地域NST「嚙下亭」が千歳市にもたらすものは何か
P33-4	さとう ひさかず 佐藤 央一	天満病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	当院での協力歯科医院連携における摂食嚙下リハビリテーション
P33-5	かくらい まき 加倉井 真紀	茨城県立中央病院 茨城県 地域がんセンター 看護局	看護師 保健師	胃ろう造設患者のQOLに寄与した嚙下外来の多職種協働 - 進行性核上性麻痺患者の経口摂取ニーズを満たす -
P33-6	なかち たかひろ 仲地 貴弘	豊見城中央病院地域医療部 地域連携室	社会福祉士	地域の食支援をコーディネートする地域連携室の役割
P33-7	ととき あや 十時 彩	東名厚木病院 看護部摂食嚙下療法科	歯科衛生士	地域一体を目指した摂食嚙下勉強会の取り組み —地域医療を担う急性期病院から発信する摂食嚙下リハの普及—
P33-8	すなはら かずお 砂原 一夫	神戸徳洲会病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	嚙下勉強会における参加者の意識変化「何が知りたい、どう関わりたい」
P33-9	ねぎし ゆうじ 根岸 裕司	三愛病院 リハビリテーション室	作業療法士	摂食嚙下障害に対する専門職連携協働の意識調査 —多専門職に対するアンケートから (第3報)—
P33-10	えだひろ 枝広 あや子	東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム	歯科医師	介護保険施設の経口摂取支援に関する研修効果

一般演題 ポスター発表2 9月15日(金) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月15日(金) 15:00～16:00

39 精神疾患・その他

座長：本多 知行 (耀光リハビリテーション病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P39-1	おだ かおる 小田 薫	医療法人社団 静和会 浅井病院 身障リハビリテーション科	言語聴覚士	当院統合失調症患者における食事摂取方法の特徴～誤嚥窒息との関連性について～
P39-2	こうたろう ゆうこ 後藤 優子	長谷川病院看護部	看護師 保健師	精神科病院における窒息事故の報告
P39-3	くまくら あやの 熊倉 彩乃	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	歯科医師	精神科病院における摂食嚥下障害患者へのチーム医療の功績
P39-4	もりた みずほ 森田 瑞穂	近森病院リハビリテーション部言語療法科	言語聴覚士	ハローベスト装着が嚥下機能改善に影響した歯突起骨折の一例
P39-5	すずき まさひろ 鈴木 正浩	姫路獨協大学医療保健学部言語聴覚療法学科	言語聴覚士	言語聴覚学生の「被曝」に対するイメージの変遷：2009年～2016年のデータによる検討
P39-6	すずき けんじ 鈴木 堅司	日本大学歯学部付属歯科病院摂食機能療法科	歯科医師	訪問診療患者の食形態の推移
P39-7	せき みちこ 関 道子	京都光華女子大学医療福祉学科学科言語聴覚専攻	言語聴覚士	大学のラーニング・コミュニティにおける摂食嚥下障害者支援の学び～KOKA☆オレンジサポーターズ活動報告～
P39-8	みなみ みねこ 南 峰子	財団法人 五省会 西能病院	看護師 保健師	中小規模整形外科病院における摂食嚥下サポートチームの活動の実態
P39-9	もり ひろこ 森 寛子	東京都健康長寿医療センター	研究者	診療報酬改訂による経管栄養新規造設と摂食機能療法診療件数の変化：社会医療診療別統計の二次解析

一般演題 ポスター発表3 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日 (土) 10:50 ~ 11:50

2 基礎2

座長：谷口 裕重 (藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P2-1	さとう あつのお 佐藤 豊展	聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科	言語聴覚士	粘性の違いによる舌骨上筋群と舌骨下筋群の筋活動開始時間の変化-健常高齢者での検討-
P2-2	くぼ さおり 久保 砂織	浜松市リハビリテーション 病院リハビリテーション部	言語聴覚士	粘度の異なる液体嚥下時における舌骨上筋群と舌骨下筋群の筋活動量の検討 -健常高齢者での検討-
P2-3	はやかわ ゆうき 早川 結樹	森永乳業株式会社 研究本部 健康栄養科学研究所	企業関係者	異なる量・粘度の液体嚥下時における舌圧の特徴
P2-4	かとう ともひろ 加藤 智大	山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	食道癌周術期患者における嚥下機能の低下と舌圧値の関連について
P2-5	かわもと てつ 河本 哲	山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	食道癌周術期患者における嚥下機能と呼気圧持続時間の関連について
P2-6	たけうち ちかこ 竹内 千華子	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科衛生士	炭酸水および温度刺激が随意嚥下におよぼす効果
P2-7	すなだ ゆかこ 砂田 悠香子	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	歯科医師	口腔内冷刺激による嚥下変調効果
P2-8	せきのう じゅんぺい 昔農 淳平	日本大学歯学部摂食機能 療法学講座	学生 大学院生	低出力超音波の出力が軟骨細胞分化と軟骨基質発現に及ぼす影響

9月16日 (土) 10:50 ~ 11:50

8 診断・評価2

座長：太田 喜久夫 (国際医療福祉大学病院 リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P8-1	やまもと さやこ 山本 五弥子	川崎医科大学 リハビリテーション医学	医師	超音波による舌骨上筋の定量的評価
P8-2	きたやま えりこ 北山 衣里子	株式会社あかね	言語聴覚士	頸部聴診法の評価精度
P8-3	わたなべ さとし 渡邊 哲	愛知学院大学歯学部 顎顔面外科学講座	歯科医師	反復唾液嚥下テストにおける時間計測の有用性についての検討
P8-4	ふくむら なおき 福村 直毅	健和会病院	医師	症例動画の集中提示による内視鏡下嚥下診断学習方法
P8-5	かとう しんいち 加藤 伸一	株式会社ジーシー 研究所	企業関係者	咀嚼能力検査装置「グルコセンサー GS-II」の基本特性 (検査用グミ「グルコラム」を用いた咀嚼試験)
P8-6	こやま よしと 小山 吉人	信州大学 医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	歯科医師	嚥下筋活動のセンシングと嚥下補助食品への応用に関する研究～スクリーニングとしての活用～第2報～
P8-7	ささげ けんと 捧 健人	沼田脳神経外科循環器科 病院言語聴覚課	言語聴覚士	上顎床義歯の装用時、非装用時における舌圧の比較検討
P8-8	よしだ ひろやす 吉田 洋康	朝日大学 歯学部 口腔病 態医療学講座 歯科放射線 学分野	歯科医師	摂食嚥下三次元動画の部位間距離計測法

一般演題 ポスター発表3 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 10:50～11:50

10 診断・評価4

座長：杉下 周平（高砂市民病院 リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P10-1	あらかわ もととき 荒川 元喜	山梨大学医学部附属病院 栄養管理部	管理栄養士 栄養士	嚥下機能判定に超音波診断法を用いた造影検査食の検討
P10-2	むらかみ たつお 村上 達郎	吉備高原医療リハビリ テーションセンター中央 リハビリテーション部	言語聴覚士	当センターにおける頸髄損傷者の嚥下造影検査所見について
P10-3	しかわ あきひろ 渋川 瑛大	北毛病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下造影検査の導入～現状と今後の課題～
P10-4	かわぐち ちほ 河口 千穂	稲沢厚生病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下機能の実用性に着目したVE検査の取り組み～入院前の食事レベルに合わせた検査食の導入～
P10-5	とよた まりな 豊田 真里奈	三豊総合病院企業団リハ ビリテーション科	言語聴覚士	当院にてVF・VE後の食事時に誤嚥が疑われた症例に対する要因の検討
P10-6	ひぐれ ゆい 日暮 結	竹の塚脳神経リハビリ テーション病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	脳血管障害による摂食嚥下障害の経口摂取への移行－VF導入前後の比較検討－
P10-7	たなか なおみ 田中 直美	浜松市リハビリテーショ ン病院看護部	看護師 保健師	嚥下造影検査中の不顕性誤嚥に対する酒石酸吸入によるバリウム喀出の効果
P10-8	ししくら しょう 宍倉 亮	聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション科	作業療法士	ストレッチャーでのVF時に安定した姿勢保持を目的に補助具を作製した取り組み
P10-9	おおしろ もりひこ 大城 盛彦	ハートライフ病院	言語聴覚士	嚥下造影検査(VF)が有効だった食道癌術後患者の一例

9月16日(土) 10:50～11:50

16 口腔ケア2

座長：水上 美樹（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P16-1	やまぐち ひさ子 山口 ひさ子	おざわ歯科クリニック	歯科衛生士	回復期病院における Oral Assessment Sheet (OAS) の作成
P16-2	かとう えりか 加藤 栄理香	南部病院看護部	言語聴覚士	簡易的口腔内評価表の導入による摂食・嚥下障害へのアプローチ
P16-3	いずみ まゆみ 出水 真由美	笠利病院歯科口腔外科	歯科衛生士	当院病棟における口腔ケアの現状について
P16-4	いがらし あさみ 五十嵐 麻美	聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室	歯科衛生士	歯科標榜のない病院での歯科衛生士の取り組み～摂食嚥下チームの一員として～
P16-5	さかい なおき 酒井 直樹	おかたに病院 リハビリテーション科	理学療法士	当院における、歯科衛生士の役割と取り組み
P16-6	あらがき ただのぶ 新垣 理宣	群馬県立がんセンター 歯科口腔外科	歯科医師	当院における手術前口腔ケア連携の取り組み
P16-7	こうだ ゆう 合田 裕	十全総合病院 歯科口腔外科	歯科医師	当院における入院患者に対する口腔ケアラウンドの現状と発熱との関連性について
P16-8	くりもと ゆみ 栗本 由美	聖稜リハビリテーショ ン病院	理学療法士	誤嚥性肺炎予防に向けた口腔ケア技術向上訪問事業の取り組みと介護保険事業所みる問題点
P16-9	たけうち じゅん 竹内 純	原宿リハビリテーショ ン病院 歯科	歯科医師	急性期病院との連携によりシームレスな回復期の口腔機能管理を行えた脳卒中の1症例
P16-10	よしずみ ゆう 吉住 結	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 高齢者 歯科学分野	歯科医師	脳出血を繰り返す患者に対する専門的口腔ケアにより嚥下リハを継続できた1症例

一般演題 ポスター発表3 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 10:50～11:50

17 食事・栄養1

座長：久保 道也 (済生会富山病院 脳卒中センター 脳神経外科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P17-1	たなか ひかる 田中 光	今村病院分院 リハビリ テーションセンター	言語聴覚士	とろみ調整食品で調製した粘調液状食品の再現性に対する臨床調査 第二報 多職種での比較
P17-2	おくた みき 奥田 美希	札幌市病院局市立札幌病 院看護部看護課	看護師 保健師	A病院B病棟におけるとろみ調整食品使用の現状調査-とろみ水作成方法の統一を目指して-
P17-3	いわもり はじめ 岩森 大	新潟医療福祉大学健康科 学部健康栄養学科	管理栄養士 栄養士	とろみ付き飲料の炭酸と温度が飲み込みやすさに及ぼす影響について
P17-4	おぼら ひとし 小原 仁	独立行政法人国立病院機 構仙台医療センター栄養 管理室	管理栄養士 栄養士	ゲル化剤で固化化した嚥下調整食の物性に関する検討
P17-5	きむら あかね 木村 亜香子	八戸赤十字病院 NST摂食嚥下チーム	管理栄養士 栄養士	嚥下調整食に適した鶏肉の調理法の検討 ～食肉品質改良剤を用いて～
P17-6	こうかわる 後藤 薫	埼玉県社会福祉事業団 嵐山郷	管理栄養士 栄養士	<施設の食事を在宅へ>～簡単でおいしく、だれでも作れるパン粥レシピの開発～
P17-7	やまぐち こうへい 山口 浩平	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 高齢者 歯科学分野	歯科医師	新規開発した食べやすい牛井に関するアンケート結果について
P17-8	いいた あき 飯田 朱紀	株式会社LEOC	管理栄養士 栄養士	スベラカーゼLiteを用いた散らし寿司とサンドイッチのレシピ開発
P17-9	さなだ としこ 真田 としこ	富士聖ヨハネ学園	管理栄養士 栄養士	りんごの咀嚼低下による食事形態変更まで
P17-10	とくなが さえこ 徳永 佐枝子	東海学園大学健康栄養学 部管理栄養学科	管理栄養士 栄養士	給食経営面から考える嚥下調整食

一般演題 ポスター発表3 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 10:50～11:50

23 地域リハ・在宅2

座長：松嶋 康之（産業医科大学 リハビリテーション医学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P23-1	はりがいとおる 張替 徹	社会医療法人新潟勤労者医療協会下越病院リハビリテーション科	医師	当地域における摂食嚥下障害者支援システムの効果と課題の検討
P23-2	しみず よしたか 清水 義貴	市立八幡浜総合病院 看護科	看護師 保健師	愛媛県八西地域での肺炎患者の動向と地域での取り組みについて
P23-3	あしが ひろかず 阿志賀 大和	新潟リハビリテーション大学言語聴覚学専攻	言語聴覚士	離島高齢者に対する嚥下機能低下予防の介入に関する報告
P23-4	ほしの かな 星野 加奈	社会医療法人 天神会 古賀病院21 リハビリテーション課	言語聴覚士	当院における嚥下外来の現状と課題について
P23-5	はりがえ ようこ 張替 瑤子	ライフ&シニアハウス神宮南井田	介護・福祉 専門職	地域連携を通じた老人ホームにおける摂食嚥下障害に関する取り組み
P23-6	きぐち けいこ 木口 圭子	賛育会病院	管理栄養士 栄養士	肢体不自由児者通所訓練所利用者への摂食嚥下訪問リハビリテーションの取り組みについて(3)
P23-7	やまうち あつし 山内 敦	東京医科歯科大学歯学部 附属病院 摂食嚥下リハビリテーション外来	歯科医師	歯科診療からヘルパー導入に繋がり、最期まで自宅療養を可能にした一例
P23-8	まがら じん 真柄 仁	新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	摂食嚥下障害の臨床普及に向けて 第1報 摂食嚥下治療登録医養成研修
P23-9	こし なおみ 古志 奈緒美	新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野	言語聴覚士	摂食嚥下障害の臨床普及に向けて 第2報 嚥下内視鏡セミナー
P23-10	おの ゆかり 小野 有香里	特定非営利活動法人 メディカルケア協会	薬剤師	地域高齢者への摂食嚥下機能維持向上に関する啓発ツールの開発と活用

一般演題 ポスター発表3 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 10:50～11:50

28 高齢者1

座長：倉田 なおみ (昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P28-1	ふくなが しんや 福永 真哉	川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科	言語聴覚士	老人保健施設入所高齢者の認知機能訓練前後の認知機能と摂食嚥下機能の変化
P28-2	こうだ あきら 郷田 瑛	逗子メディスタイルクリニック	歯科医師	胃瘻造設後のLewy小体型認知症患者に対して在宅にて食支援を行った一例
P28-3	ひの みほ 日野 美穂	出雲市民病院	言語聴覚士	舌圧と食形態との相関について - 軽度認知症が疑われる群と認知症が無い群の比較 -
P28-4	おの ゆみこ 小野 有美子	丸の内病院 診療技術部 歯科衛生士課	歯科衛生士	アルツハイマー型認知症で急速に嚥下機能低下をきたした一症例
P28-5	しまお あい 島雄 愛	清和苑ゆうホーム	管理栄養士 栄養士	認知症の種類別に見た嚥下状態の検証
P28-6	みつさだ みか 光貞 美香	宇部フロンティア大学 人間健康学部看護学科	大学 専門学校等 教員	室内照度が高齢者の食欲に与える影響の検討
P28-7	こまば なつみ 駒場 奈津美	老人保健施設 にじのまち	言語聴覚士	胃瘻で介護老人保健施設に入所になったが家族の介助でも経口摂取が可能となった1症例

9月16日(土) 10:50～11:50

30 高齢者3

座長：重田 律子 (九段坂病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P30-1	ありかわ えり 有川 英里	大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室	歯科衛生士	要介護高齢者の嗅覚機能と食事に関する調査報告 - 要介護高齢者と健常成人の嗅覚機能の比較 -
P30-2	かねこ のぶこ 金子 信子	医療法人おひさま会 やまぐちクリニック	歯科衛生士	要介護高齢者の嗅覚機能と食事に関する調査報告 - 嗅覚機能低下に関連する因子について -
P30-3	ひの ゆきこ 日野 由樹子	介護老人保健施設 遊心苑	看護師 保健師	介護老人保健施設を利用する要介護高齢者の口腔機能と生活リズムに関連する要因
P30-4	とみまつ ひろみ 富松 浩美	和洋女子大学大学院総合生活研究科総合生活学科	管理栄養士 栄養士	特別養護老人ホーム入所者における咀嚼・嚥下困難食を導入した入所者の口腔機能と食事チェック表の関連
P30-5	えぞき ひろみ 江崎 ひろみ	愛媛県立医療技術大学 保健科学部看護学科	看護師 保健師	地域在住高齢者における水の1回嚥下量の個人内変動に影響を及ぼす要因について
P30-6	くろさわ ゆきこ 黒澤 友紀子	東京医科歯科大学 高齢者歯科学分野	歯科医師	高齢嚥下障害患者の頸部周囲長と嚥下機能の関連性
P30-7	かんの さゆり 菅野 小百合	浜松市リハビリテーション病院	言語聴覚士	粘度の異なる水分嚥下時の舌骨上筋群と舌骨下筋群の筋電活動時間 - 健常高齢者での検討 -
P30-8	ますだ わたる 増田 渉	九州女子大学栄養	大学 専門学校等 教員	テストピースを用いた高齢者の舌立体認知機能評価と食事の影響

一般演題 ポスター発表3 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 10:50 ~ 11:50

36 神経・筋疾患1

座長：伊藤 弘人（那須赤十字病院 歯科口腔外科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P36-1	たなか こうじ 田中 厚史	NHO柳井医療センター	言語聴覚士	舌圧の低下に伴う嚥下状況の変化を追った口腔期障害先行の筋萎縮性側索硬化症1例
P36-2	ひがし ともこ 東 倫子	岡山大学病院 スペシャル ニーズ歯科センター	歯科医師	筋萎縮性側索硬化症（球麻痺型）の摂食嚥下障害の対応が困難だった1例
P36-3	おおいし ゆたか 大石 裕	つがやす歯科医院	歯科医師	当院が関わった筋萎縮性側索硬化症（ALS）7症例の概要と摂食機能療法について
P36-4	なかむら まさとし 中村 雅俊	上戸町病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	嚥下困難感を主訴とした球脊髄性筋萎縮症の一例
P36-5	かつの ゆうた 勝野 由大	名古屋第二赤十字病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	壊死性筋炎に合併した重度嚥下障害に対するリハビリテーション介入の試み
P36-6	まえだ きょうこ 前田 恭子	埼玉医科大学病院 リハビリテーション科	医師	皮膚筋炎、多発性筋炎の重症度と嚥下障害に関連する因子
P36-7	しろま けいた 城間 啓多	独立行政法人国立病院機構 沖縄病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の経口摂取に向けて
P36-8	こがねざわ だいすけ 小金澤 大亮	朝日大学歯学部口腔病態 医療学講座障害者歯科学 分野	歯科医師	摂食嚥下機能の評価が重症筋無力症の診断に繋がった1例
P36-9	ふじい ひでこ 藤井 秀彦	さいたま市立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	MG診断前よりリハ介入した78歳男性例

一般演題 ポスター発表4 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日 (土) 14:00 ~ 15:00

5 訓練2

座長：真柄 仁 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P5-1	こやま ぜんや 小山 善哉	長崎大学大学院 口腔保健学分野	歯科医師	逆止弁付きブローイング訓練用ストローの開発 と訓練時の呼気圧の評価
P5-2	こやま みほ 小山 美穂	群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	訓練用アイススティックの効果の検討
P5-3	かきうち みか 垣内 美香	石川県立中央病院	看護師 保健師	舌の筋力増強訓練が奏功した脳梗塞患者の一症 例 舌圧測定の有用性
P5-4	きただい なおみ 来代 直美	JCHO東京蒲田医療セン ター リハビリテーション科	言語聴覚士	精神疾患のある胃瘻造設患者に対し本人の不安 を除去しながら嚥下訓練を実施し経口摂取可能 となった1例
P5-5	えんどう まゆみ 遠藤 真弓	館林厚生病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	OE法を取り入れたことで経口摂取可能となっ た重度嚥下障害を伴う延髄外側症候群の1例
P5-6	はぎの しゅうさく 萩野 周作	JA愛知厚生連 豊田厚生 病院 リハビリテーション 技術科	言語聴覚士	高齢Wallenberg症候群患者に対し嚥下訓練と 共に運動療法、胃瘻造設、薬物療法を行い経口摂 取可能となった1例
P5-7	たじり あやこ 田尻 絢子	岡山大学病院 スペシャル ニーズ歯科センター	歯科医師	肺移植手術後に嚥下障害を呈した一症例
P5-8	わだ しんや 和田 伸也	市立加西病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	完全側臥位法の導入により、経口摂取が可能と なった重度嚥下障害の一例

9月16日 (土) 14:00~15:00

12 補綴・装具・治療機器

座長：大野 友久 (国立長寿医療研究センター)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P12-1	むらた なおみち 村田 尚道	岡山大学病院 スペシャル ニーズ歯科センター	歯科医師	嚥下機能の評価および支援システムの開発 (第1報)
P12-2	むらた なおみち 村田 尚道	岡山大学病院 スペシャル ニーズ歯科センター	歯科医師	嚥下機能の評価および支援システムの開発 (第2報)
P12-3	やまだ ひろゆき 山田 裕之	日本歯科大学 口腔リハビリテーション 多摩クリニック	歯科医師	口腔周囲筋の活動を測定する小型筋電センサー システムの開発
P12-4	とだ こうじ 戸田 浩司	自治医科大学附属病院歯 科・口腔外科	看護師 保健師	摂食嚥下障害患者における経口摂取訓練のため のボトル装着型定量コップの開発
P12-5	くわはら りょうこ 桑原 涼子	群馬県立がんセンター 歯 科口腔外科	歯科衛生士	当院における気管挿管時カスタムメイドタイプ マウスガードの使用状況
P12-6	おおむら ともや 大村 智也	鳴門山上病院 リハビリテーション部門	言語聴覚士	当院呼吸ケアチームにおけるカフアシストE70 の使用経験～肺炎予防効果の検討～
P12-7	やなぎ さおり 柳 沙織	関西リハビリテーション病 院リハビリテーション部	言語聴覚士	舌接触補助床によって三食経口摂取が確立した ギランバレー症候群の一症例
P12-8	こじま のりなが 小島 規永	愛知学院大学歯学部有床 義歯学講座	歯科医師	舌接触補助床と摂食嚥下機能訓練により口腔機 能改善を認めた一例
P12-9	すぎやま てつや 杉山 哲也	東京歯科大学口腔健康科 学講座摂食嚥下リハビリ テーション研究室	歯科医師	Swalloidのみから舌接触補助床と下顎総義歯 を装着することで流涎が改善した口腔底がん術 後の一症例

一般演題 ポスター発表4 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 14:00～15:00

14 看護2

座長：大久保 まさ子（社会医療法人貴志川リハビリテーション病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P14-1	まつもと 松本 みなと	大分リハビリテーション 病院 看護部	看護師 保健師	回復期リハビリテーション病棟における入退院時の口腔の変化 ～ROAG評価結果から～
P14-2	すなやま あきこ 砂山 明子	都立駒込病院	看護師 保健師	人工呼吸器抜管後の摂食嚥下障害患者に対し、KTバランスチャートを用い3食経口摂取が可能となった一例
P14-3	おおしろ はつこ 大城 初子	南部徳洲会病院・回復期 リハビリテーション病棟	看護師 保健師	当院における摂食機能療法導入に向けた取り組みについて～KTバランスチャートを用いて～
P14-4	にしおか ひろこ 西岡 裕子	愛知県立大学看護学部	看護師 保健師	中咽頭がん術後の摂食嚥下障害のアセスメントを導くアルゴリズムの検証
P14-5	おおむら ようこ 大村 葉子	国立病院機構 沖縄病院 看護部	看護師 保健師	神経内科病棟における摂食嚥下障害患者への嚥下内視鏡による評価導入の取り組み -看護師の観点から-
P14-6	もりた まりこ 森田 満理子	群馬大学医学部附属病院 看護部	看護師 保健師	嚥下調整食による段階的摂食訓練を拒否したが、看護介入により常食摂取が可能となった一例
P14-7	こばやし よしこ 小林 佳子	佐野厚生総合病院看護部	看護師 保健師	完全側臥位の有用性についての考察

9月16日(土) 14:00～15:00

20 食事・栄養4

座長：中東 真紀（鈴鹿医療科学大学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P20-1	えんどう ひろし 遠藤 博史	産業技術総合研究所 人間情報研究部門	法人職員	擬似咀嚼音による食事支援技術の開発 -音の効果と影響因子の検討-
P20-2	たけのうち ひろみ 竹之内 弘美	富山県済生会富山病院 診療部栄養管理科	管理栄養士 栄養士	摂食機能療法算定患者の入院時MNAと摂食・嚥下能力グレードの関連性
P20-3	こうやま 神山 かおる	農研機構食品研究部門	食品研究者	すり身ゲルの破壊特性が塩味の感覚強度に及ぼす影響
P20-4	むらかみ みどり 村上 翠	室蘭太平洋病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	長期療養患者において、投与塩分量・投与水分量と体温・血圧・生理学・生化学的データとの関係について
P20-5	たけい り 竹井 絵理	新潟大学医歯学総合研究 科摂食嚥下リハビリテー ション学分野	研究補助員	市販の粥製品における官能評価の解析
P20-6	さとみ しんご 里見 真悟	中村病院	管理栄養士 栄養士	スベラカーゼミートの使用による軟化効果について
P20-7	やまもと 山本 ひとみ	健和会病院 リハビリテーション科	医師	全例で目標側の食道入口部を通過した、側臥位での経鼻栄養胃管挿入
P20-8	くりさわ しょうへい 栗澤 祥平	健和会病院	言語聴覚士	口腔内カテーテル留置で経口より栄養確保が可能となった3症例

一般演題 ポスター発表4 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 14:00～15:00

21 ADL・QOL

座長：金森 大輔（藤田保健衛生大学医学部 七栗記念病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P21-1	木村 美穂	国立病院機構医王病院	看護師 保健師	著明な拘縮と廃用症候群が認められたパーキンソン病患者へのチーム医療
P21-2	菅間 美樹	日本大学歯学部附属歯科 病院摂食機能療法科	歯科医師	自宅退院し独居の進行性パーキンソン病患者に対して摂食機能療法を継続し食のQOLを維持した1例
P21-3	甲州 優	東都医療大学ヒューマン ケア学部看護学科	看護師 保健師	人工呼吸器を装着し自立生活を送る筋ジストロフィー青年への食べる楽しみを取り戻す取り組み 第3報
P21-4	中本 晴香	富山協立病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	ALS患者の食に対するACPを用いた意思決定支援
P21-5	村上 哲一	小羊学園 つばさ静岡	作業療法士	重症心身障害者の口から食べる幸せを継続するために
P21-6	加藤 駿一郎	日本大学歯学部附属歯科 病院摂食機能療法学講座	歯科医師	歯科恐怖心により口腔へのアプローチが困難な胃瘻患者に対する摂食嚥下リハビリテーションの取り組み
P21-7	眞鍋 美保子	さくら会病院	歯科衛生士	医科歯科医療連携で咀嚼機能が改善しADL・QOLの向上を認めた症例

9月16日(土) 14:00～15:00

25 教育研修

座長：栢下 淳（県立広島大学 健康科学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
P25-1	山本 美和	旭労災病院 中央リハビリ テーション部	言語聴覚士	多団体により開催した摂食及び栄養に関する研修会の今後の課題
P25-2	福元 聡史	トヨタ記念病院 栄養科	管理栄養士 栄養士	食支援の研究会 第2回東海摂食栄養フォーラム-施設・病院向け調理実習の効果-
P25-3	田所 史江	名古屋記念病院 臨床栄養科	管理栄養士 栄養士	食支援の研究会 第2回東海摂食栄養フォーラム -在宅向け調理実習の効果-
P25-4	竹石 龍石	新潟大学大学院医歯学総合 研究科摂食嚥下リハビリ テーション学分野	大学 専門学校等 教員	連携機能を活用した歯学教育高度化プログラムにおける摂食機能に関する相互乗り入れ講義の取組-第2報-
P25-5	恩地 佐由美	医療法人社団みずほ会 オール歯科	歯科衛生士	開業歯科医院における摂食嚥下研修の効果
P25-6	宮田 栄里子	紀南病院看護部	看護師 保健師	看護師による食事時のポジショニングスキル教育の効果
P25-7	竹内 美奈子	特定医療法人 あかね会 土谷総合病院	看護師 保健師	「えんげ塾」立ち上げから5年 活動報告と今後の課題
P25-8	藤井 博美	地方独立行政法人 広島市 立病院機構 広島市立広島 市民病院	看護師 保健師	摂食嚥下口腔ケア部会の活動報告 -アンケート結果を比較して-
P25-9	太田 純子	中村記念病院 看護部	看護師 保健師	摂食嚥下障害に関する学習会効果の検討

一般演題 ポスター発表4 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 14:00～15:00

27 小児

座長：綾野 理加 (あやの歯科医院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P27-1	しまぶくろ あかり 島袋 亜香里	琉球大学医学部附属病院 歯科口腔外科	言語聴覚士	哺乳訓練を実施したミトコンドリア病の乳児の1症例
P27-2	なかす ちひろ 中須 千尋	横浜市北部地域療育センター	理学療法士	食べる楽しさが育ったことで拒食から口腔機能と食事動作の向上に至った精神運動発達遅滞児の1症例
P27-3	おおまえ うり 大前 由里	独立行政法人国立病院機構 洪川医療センター	言語聴覚士	嚥下内視鏡検査により訓練プログラムを見直した重症心身障害者の1症例
P27-4	わだ ゆうじ 和田 勇治	東京都立小児総合医療センター	医師	当院で行ったダウン症候群児の嚥下造影についての検討
P27-5	あおき ゆかり 青木 ゆかり	千葉リハビリテーションセンター	看護師 保健師	経管栄養依存による拒食を脱した後、押しつぶし機能以上の機能獲得に難渋したダウン症の1症例
P27-6	たむら ふみよ 田村 文誉	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	歯科医師	輪状咽頭筋弛緩不全による重度摂食嚥下障害のCHARGE症候群児の一考察
P27-7	むろた ゆみこ 室田 由美子	東京リハビリ訪問看護ステーション	言語聴覚士	ジェネラルな対応能力を活かした摂食嚥下障がい児への訪問リハ
P27-8	こだま たえこ 兒玉 妙子	心身障害児総合医療療育センター 作業療法科	作業療法士	COPMを用いた作業療法士による摂食評価についての報告
P27-9	かわむら みゆき 川村 美幸	筑波大学附属病院	看護師 保健師	ビン哺乳児におけるPIBBSの検討
P27-10	やすだ しげひさ 安田 重久	独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター	看護師 保健師	経腸栄養管理をされている重症心身障害児(者)における体重変化の観察

9月16日(土) 14:00～15:00

32 多職種連携2

座長：渡名喜 良明 (大浜第一病院 リハビリテーション科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P32-1	わきぐち やすお 脇口 恭生	神奈川県立こども医療センター 発達支援部理学療法室	理学療法士	当センターにおける摂食嚥下サポートチームの取り組み
P32-2	やまだ まさみ 山田 真実	名古屋第二赤十字病院 栄養課	管理栄養士 栄養士	救急治療センター(HCU)でのミールラウンドの報告
P32-3	よしざわ やすよ 吉澤 恭代	多摩南部地域病院	言語聴覚士	当院における摂食嚥下プロジェクトチームの活動報告
P32-4	こじま ちさ 小島 千沙	亀田総合病院	看護師 保健師	当院における多職種による嚥下回診の取り組み
P32-5	すとう るり 須藤 るり	河北リハビリテーション病院	看護師 保健師	回復期病院でのNST活動の報告
P32-6	よしの ひろみ 吉野 ひろみ	きらり健康生活協同組合 上松川診療所 歯科口腔外科	歯科衛生士	特別養護老人ホームにおける歯科衛生士のミールラウンドでの役割
P32-7	さくらい あきなり 櫻井 精斉	信州大学歯科口腔外科	歯科医師	信州大学医学部附属病院における口腔・嚥下ケアチームの活動報告(第2報)
P32-8	あめみや まさひろ 雨宮 将洋	東京脳神経センター病院	言語聴覚士	非常勤勤務病院において嚥下障害患者群の嚥下能力改善を目指した他職種連携の経験
P32-9	ひろせ まゆみ 廣瀬 真由美	かみいち総合病院	看護師 保健師	当院での摂食・嚥下障害認定看護師としての活動報告
P32-10	すずき のりこ 鈴木 典子	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	理学療法士	摂食嚥下障害に対する理学療法士の取り組み—言語聴覚士のいない有床在宅支援診療所—

一般演題 ポスター発表4 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 14:00～15:00

34 多職種連携4

座長：名古屋 将太郎 (医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P34-1	わたなべ ありさ 渡辺 亜梨沙	南部病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	情報伝達ボード導入前後での病棟理解度の変化についての調査
P34-2	はやし たいき 林 大輝	長岡赤十字病院栄養課	管理栄養士 栄養士	多施設協働による嚥下食指導媒体作成～使用状況報告～
P34-3	みよし まみ 三好 まみ	独立行政法人国立病院機構 高松医療センター	言語聴覚士	多職種で介入できる嚥下システムの構築
P34-4	はっとり みやこ 服部 都	さいたま市立病院看護部	看護師 保健師	嚥下評価依頼方法の手順作成
P34-5	やまもと まりこ 山本 真理子	出雲市民病院	作業療法士	嚥下造影検査の姿勢を正確に日常生活上で定着するための取り組み
P34-6	かやの ちひろ 茅野 千尋	那須赤十字病院 歯科口腔外科	歯科衛生士	当院摂食嚥下チームから当科に嚥下造影検査依頼があった患者の実態調査
P34-7	たくち まこと 田口 充	鶴岡協立リハビリテーション病院	言語聴覚士	医師から歯科医師にVE実施者を変更した際の業務と対応方法の変化
P34-8	のぐち みき 野口 美紀	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	看護師 保健師	化学放射線療法を受ける頭頸部がん患者の誤嚥予防をねらいとした標準化プログラムの検討
P34-9	おおいし ともこ 大石 朋子	筑波大学大学院人間総合 科学研究科看護科学専攻 博士後期課程	学生 大学院生	嚥下障害患者および家族の栄養摂取法に対する意思決定について
P34-10	さとう かずみ 佐藤 和美	医療法人社団LSM 寺本内 科歯科クリニック	歯科衛生士	患者固有のQOLに基づく多職種連携の重要性

9月16日(土) 14:00～15:00

38 誤嚥性肺炎

座長：小野木 啓子 (藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P38-1	ほた ぎさちよ 保田 祥代	刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	急性期病院において誤嚥性肺炎を合併した脳卒中患者の特徴
P38-2	おごき けんいちろう 尾崎 研一郎	足利赤十字病院 リハビリテーション科	歯科医師	DPCデータベースを用いた急性期病院における肺炎発症患者の調査
P38-3	しげみ るな 重見 留菜	マツダ株式会社マツダ病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	誤嚥性肺炎患者における初回アセスメント時の経口摂取予後予測因子の検討
P38-4	いまい けんいち 今井 健一	日本大学 歯学部細菌学講座	歯科医師	口腔細菌による誤嚥性肺炎発症機序の解明2: 歯周病原菌は呼吸器上皮細胞の炎症性サイトカイン産生を誘導する
P38-5	おかだ みき 岡田 美紀	東京大学医学部附属病院 看護部	看護師 保健師	誤嚥性肺炎再燃予防に対する摂食・嚥下障害看護認定看護師の有効性の検証
P38-6	おだ りゅうたろう 小田 隆太郎	株式会社麻生 飯塚病院 総合診療科	医師	飯塚市のCommunity-hospitalにおける嚥下造影検査について
P38-7	くどう ひろし 工藤 浩	国民健康保険飛騨市民病院 栄養サポートチーム	医師	高齢者の誤嚥性肺炎診療における完全側臥位法の有用性
P38-8	いけだ ちほ 池田 千穂	長尾病院 リハビリテーション部 言語療法室	言語聴覚士	介護老人保健施設におけるミールラウンドの効果
P38-9	おおにし ざとし 大西 智史	介護老人保健施設 わたつみ苑	言語聴覚士	当介護老人保健施設におけるSTの介入とその効果
P38-10	うめばやし あゆみ 梅林 歩美	市立八幡浜総合病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	腰椎圧迫骨折にて入院後、誤嚥性肺炎を発症した1例

一般演題 ポスター発表4 9月16日(土) ポスター会場 国際展示場 ホール8

9月16日(土) 14:00～15:00

40 口腔・頭頸部・その他疾患

座長：辻 哲也(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P40-1	おおおか たかみみ 大岡 貴史	明海大学歯学部機能保存 回復学講座摂食嚥下リハ ビリテーション学分野	歯科医師	当院における口腔がん術後の経口摂取状況の検討
P40-2	さの さおり 佐野 沙織	兵庫医科大学病院 歯科口腔外科	歯科衛生士	頭頸部悪性腫瘍患者の外科的切除後に生じる構音機能障害
P40-3	むらた さなえ 村田 早苗	九州歯科大学 老年障害者歯科学分野	歯科医師	頭頸部腫瘍患者に対する周術期口腔機能管理における嚥下機能評価
P40-4	とびなが むねはる 飛永 宗治	九州がんセンター リハビリテーション科	言語聴覚士	頭頸部領域への放射線治療による嚥下痛に対する、横向き嚥下(Head-Rotation)での食塊誘導
P40-5	やすだ なおこ 安田 奈緒子	医療法人 衆済会 増子記 念病院 リハビリテーション課	言語聴覚士	全身性強皮症、シェーグレン症候群に脳梗塞を合併した一症例
P40-6	たかの はら きょうこ 高ノ原 恭子	京都学園大学 健康医療学 部 言語聴覚学科	言語聴覚士	表皮水疱症の摂食嚥下障害—3症例を通して—
P40-7	しぶさわ やすこ 渋澤 靖子	蒲田リハビリテーション病 院リハビリテーション科	言語聴覚士	心不全により廃用症候群で重度の嚥下障害を呈した頸椎前縦靭帯骨化症疑いの1例

9月16日(土) 14:00～15:00

41 English Poster

座長：Yumi Chiba (Yokohama City University)

演題番号	演者	所属	職種	演題
P41-1	Hsiu Ching LEE	Maria Social Welfare Foundation Maria PIMD Center	MA, CCC-SLP	Diet Modification in People with Severe Cerebral Palsy in Taiwan: A profound intellectual and multiple disabilities (PIMD) center model
P41-2	Shun-Te HUANG	Department of oral hygiene, College of Dental Medicine, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan	DDS	Improper oral feeding behavior is a risk factor of aspiration pneumonia
P41-3	Ying-Jung TSENG	Department of Nursing, Instructor, Chang-Gung University Science and Technology, Taiwan (ROC)	RN, MSN, PhD	The care experiences of nurses attending to hospitalized stroke patients with dysphagia: A qualitative study
P41-4	Pi-Yu LEE	Fooyin University in Kaohsiung of R.O.C.	RN	Preliminary Development of the Elderly Caring Teaching Materials Focused on Eating and Swallowing Impairment